磯子区連合町内会長会 10 月定例会

日時　令和８年 10 月 16 日（金）10：00
会場　区総合庁舎７階　７０１・７０２号会議室

○ 会長あいさつ
○ 警察署長あいさつ
○ 区長あいさつ

警察・消防の議題

１　磯子警察署

（１）**令和８年９月末の犯罪発生状況について**　**【磯子警察署】**
説明者：　渡辺（わたなべ）生活安全課長

（２）**令和８年９月末の人身交通事故発生状況について**　**【磯子警察署】**
説明者：　佐藤（さとう）交通課長

２　磯子消防署

（１）**令和８年９月末の火災・救急状況について**　**【磯子消防署】**
説明者：　亀井（かめい）副署長

市連の報告

１　**横浜みどりアップ計画[2024-2028]２年目の実績報告について（情報提供）**
説明者：　河村（かわむら）公園緑地事業課長・土屋（つちや）税務課長
【みどり環境局・総務局】

２　**横浜グリーンエクスポ開催半年前メディア発表会の開催及び「ヨコハマ 18（イチハチ）コレクション」参加者募集への協力について（情報提供）**
説明者：　吉田（よしだ）区政推進課長　**【脱炭素・GREEN×EXPO 推進局】**

区連の議題

１　事務連絡・依頼事項

（１）**東京湾沿岸海岸保全基本計画（神奈川県区間）改定に伴うパブリックコメントの実施について（情報提供）**
説明者：　上田（うえだ）政策調整課長　**【港湾局】**

（２）**「磯子区安全・安心まちづくりポスターコンクール」最優秀作品ポスターの自治会町内会掲示板への掲出について（お願い）**
説明者：　荒木（あらき）地域振興課長　**【地域振興課】**

（３）**令和８年度コスモスミーティングについて（報告）**
説明者：　荒木（あらき）地域振興課長　**【地域振興課】**

（４）**令和８年度「磯子区社会福祉大会」・「スイッチＯＮ磯子講演会」の開催について（協力依頼）**
説明者：　川崎（かわさき）福祉保健課長　**【福祉保健課】**

（５）磯子区の災害医療体制とのぼり旗掲出訓練について（情報提供）　　【福祉保健課】

説明者：　川崎（かわさき）福祉保健課長

２　区社会福祉協議会

（１）「いそご更生保護だより」第 73 号の回覧について

説明者：　小清水（こしみず）事務局長　　**【区社会福祉協議会】**

３　その他

（１）資料配布

ア　汐見台自治会連合会だより　第 463 号

イ　年末年始の資源とごみの収集日程について

ウ　自治会町内会館脱炭素推進事業補助金の受付再開について

エ　横浜家事調停協会　調停手続相談会の開催について

閉会

警察・消防の議題

１　磯子警察署

（１）令和８年９月末の犯罪発生状況について

磯子区内の犯罪発生件数は 605 件で、前年に比べ 86 件の増加となっています。

特殊詐欺の被害件数は 28 件で、前年に比べ 10 件の減少となっています。被害金額は約１億 5,750 万円で、前年に比べ約 4 億 2,570 万円の減少となっています。

（２）令和８年９月末の人身交通事故発生状況について

磯子区内の人身交通事故発生件数は 199 件で、前年に比べ 7 件の増加となっています。死者数は０人で、前年に比べ３人の減少、負傷者数は 228 人で、前年に比べ 19 人の増加となっています。

２　磯子消防署

（１）令和８年９月末の火災・救急状況について

磯子区内の９月末までの火災発生件数は 20 件で、前年に比べ 12 件の減少となっています。市内全体では 519 件で、前年に比べ 73 件の減少となっています。

救急出場件数は、区内全体では、8,077 件で、前年に比べ 137 件減少となっています。市全体では、180,803 件で、前年に比べ 2,207 件の減少となっています。

市連の報告

１　横浜みどりアップ計画[2024-2028]２年目の実績報告について（情報提供）

【みどり環境局・総務局】

横浜みどりアップ計画につきましては、「緑豊かなまち横浜」を次の世代に引き継いでいくために、「横浜みどり税」を財源の一部として活用させていただきながら緑の保全・創出に向けた様々な事業・取組を推進しています。

このたび、横浜みどりアップ計画[2024-2028]　の２年目となる2025年度を振り返り、取組の成果を事業報告書にまとめましたのでご報告いたします。

【地区連長】地区連合定例会等で情報提供をお願いします。

【単位会長】定例会等で情報提供をお願いします。

（広報よこはま１月号で掲載予定）

○ 問合せ先

ア　横浜みどりアップ計画の広報に関すること

みどり環境局戦略企画課

電話　：０４５－６７１－２７１２　FAX：０４５－５５０－４０９３

イ　横浜みどり税に関すること

総務局税務課

電話：０４５－６７１－２２５３ FAX：０４５―６４１－２７７５

２　横浜グリーンエクスポ開催半年前メディア発表会の開催及び ヨコハマ １８（イチハチ）コレクション」参加者募集への協力について（情報提供）

【脱炭素・GREEN×EXPO 推進局】

「横浜グリーンエクスポ開催半年前メディア発表会」を開催し、横浜市出展「つなぐ横浜館」「つなぐ横浜フィールド」の名称や、市主催催事「YOKOHAMA GREEN CHALLENGE WEEK」「ヨコハマ 18 コレクション」などの概要を発表しました。また、「ヨコハマ 18 コレクション」では、ステージパフォーマンスの参加者を 12 月 28 日まで募集しています。

【地区連長】地区連合定例会等で情報提供をお願いします。
【単位会長】定例会等で情報提供をお願いします。
（広報よこはま 10 月号で掲載）

（１）「横浜グリーンエクスポ開催半年前メディア発表会」について

横浜市出展の名称を「つなぐ横浜館」及び「つなぐ横浜フィールド」に決定したことを発表したほか、「YOKOHAMA GREEN CHALLENGE WEEK」や「ヨコハマ 18 コレクション」など、市主催催事の概要を紹介しました。

また、市内 10 の大学・専門学校で活動する「EXPO 部」の始動、「横浜ネイチャークエスト」の実施、横浜都心臨海部と会場を結ぶ直行バスの運行ルートの発表、TDM パートナー向けステッカーの配布など、開催に向けた多彩な取組を発表しました。

（２）「ヨコハマ 18 コレクション」ステージパフォーマンス出演者募集について

横浜グリーンエクスポ会期中、地域で活躍する区民の皆さまが主役となり、「食」と「エンターテインメント」を通じて、横浜 18 区それぞれの個性や地域の特色を紹介するとともに、地域で育まれてきた文化や伝統、特産品、地域活動など、多彩な魅力を発表いただくイベント「ヨコハマ 18 セレクション」を開催します。

開催にあたり、音楽やダンス、演劇などのステージパフォーマンス参加者を、12 月 28 日まで募集しています。区の特産品や地産地消の飲食物などを扱うブース出展者についても、11 月 2 日から募集を開始する予定です。

※応募方法についてはホームページをご参照ください。
https://yokohamagreenexpo-saiji.city.yokohama.lg.jp/18collection/guidelines/

「ヨコハマ 18 コレクション」HP はこちら

（３）問合せ先

脱炭素・GREEN×EXPO 推進局 GREEN×EXPO 推進課
電話：　０４５－６７１－４６２７　/FAX：０４５－２１２－１２２３
メール：da-greenexpo@city.yokohama.lg.jp

区連の議題

１　事務連絡・依頼事項

（１）東京湾沿岸海岸保全基本計画（神奈川県区間）改定に伴うパブリックコメントの実施について（情報提供）【港湾局】

津波、高潮・波浪からの海岸の防護について、将来的な気候変動の影響を考慮するため、神奈川県は東京湾沿岸の“海岸保全基本計画”を改定します。県によりパブリックコメントが行われますのでお知らせします。

【地区連長】地区連合定例会等で情報提供をお願いします。

【単位会長】定例会等で周知をお願いします。

ア　主な改定内容と横浜市の対応について

改定計画では、横浜市域は、2100 年時点で現行の防護計画高（標高 2.71m） から平均で 60 ㎝程度上昇（波浪の影響を除く）すると想定※１されています。計画改定を踏まえ、水際線の利用、海辺の賑わい、景観等に十分配慮しながら、海岸保全施設（津波・高潮から海岸を防護する施設）の整備を検討※2 していきます。

※１　気候変動による将来水位の上昇には、不確実な要素が含まれており、適宜、計画の見直しを行うこととされています。

※２　金沢地区、大黒ふ頭地区については整備済、または整備中の箇所があります。

（海岸保全基本計画とは）
・海岸の防護・環境・利用の方針を定めた計画
・防護対象の災害を「数十年から百数十年に１回発生するような津波」「過去最大級の台風による高潮・波浪」としており、それ以上の災害は避難が前提となっています。

イ　パブリックコメントの実施について

【意見募集期間】令和８年 10 月 16 日～令和８年 11 月 16 日

【意見提出方法】神奈川県ホームページをご覧ください。

https://www.pref.kanagawa.jp/docs/f4i/pub/c8310794.html

ご意見はこちらから

※10 月 15 日よりアクセス可能。10 月 16 より募集開始。

ウ　問合せ先

【海岸保全基本計画（改定素案）全般について】

神奈川県県土整備局河川下水道部河港課なぎさグループ

電話：０４５－２１０－６５１４ FAX：０４５－２１０－８８９７

【横浜市域の対策について】

横浜市港湾局政策調整部政策調整課　担当 大賀・井上・多田

電話：０４５－６７１－７３００

（２）「磯子区安全・安心まちづくりポスターコンクール」最優秀作品ポスターの自治会町内会掲示板への掲出について（お願い）

【地域振興課】

今年度も磯子区及び磯子消防署では、防犯・交通安全意識の啓発や火災予防思想の一層の普及を目的として、区内中学生を対象とした「磯子区安全・安心まちづくりポスターコンクール」の最優秀作品（防犯部門及び火災予防部門）をデザインとした、啓発用ポスターを作成しました。

つきましては、貴地区内の掲示板へのポスター掲出についてご無理のない範囲で、御協力をお願いいたします。

【地区連長】地区連合定例会等で情報提供をお願いします。

【単位会長】掲示について可能な範囲でご協力をお願いします。

ア　掲示期間【ご無理のない範囲でご協力お願いします。】

ポスターの到着後、長期間のご掲出についてご協力をいただければ幸いです。

※参考：秋の火災予防運動　令和８年 11 月９日～11 月 15 日

春の火災予防運動　令和９年３月１日～３月７日

イ　問合せ先

防犯・交通安全部門：磯子区地域振興課 馬場・前原

電話：０４５―７５０―２３９６ FAX：０４５―７５０―２５３４

メール: is-bouhan@city.yokohama.lg.jp

火災予防部門：磯子消防署総務・予防課 宮地・五嶋

電話・FAX：０４５―７５３－０１１９

メール：sy-isogo-yobo@city.yokohama.lg.jp

（３）令和８年度コスモスミーティングについて（報告）【地域振興課】

今年度も各地区においてコスモスミーティングが開催され、自治会町内会ほか地域で活動する委嘱委員の方など、全９地区で延べ300人の方にご参加いただき、各地区の地域課題について活発な意見交換が行われました。

今年度は、第５期磯子区地域福祉保健計画（スイッチＯＮ磯子）のスタートの年であることから、各地区とも地区別計画の目標に関連したテーマで、特徴的な事例紹介や活発な意見交換が行われました。

各地区の意見交換の概要と、当日ご回答いただいたアンケートの結果についてご報告します。

【地区連長】地区連合定例会等で情報提供をお願いします。

【単位会長】定例会等で情報提供をお願いします。

ア　実施概要

地区名	実施日時	参加人数	テーマ
根岸	６/22(月)	30人	私たちの身近で“つながり”が生まれている場・活動
滝頭	７/９(木)	49人	風水害発生時の地域の自助・共助について
岡村	７/１(水)	34人	「誰もが気軽に参加しやすい活動」を考える～広がれ！岡村の地域活動の輪～
磯子	７/21(火)	31人	大人と子どもの場づくりに向けた地域活動の取組～子どもから大人まで楽しく気軽に参加できるための取組
汐見台	６/20(土)	28人	汐見台をこんな街にしたい！そのために私ができる事
屏風ヶ浦	７/17(金)	25人	「住民同士が顔見知りになる取組を進めます」について
杉田	７/18(土)	39人	区制100周年に向けて 杉田地区の過去･現在･未来への取組～杉田地区の魅力再発見～ 区制100周年に向けて杉田地区でできること
上笹下	６/20(土)	29人	防災
洋光台	７/23(木)	35人	持続可能な地域活動について

イ　問合せ先

磯子区地域振興課 新井田・石橋

電話：０４５―７５０－２３９８　Fax：０４５－７５０－２５３４

メール：is-chiikiryoku@city.yokohama.lg.jp

（４）令和８年度「磯子区社会福祉大会」・「スイッチＯＮ磯子講演会」の開催について（協力依頼）【福祉保健課】

区社会福祉協議会主催の磯子区社会福祉大会及び区役所主催の磯子区地域福祉保健計画「スイッチＯＮ磯子」講演会を開催します。ぜひ参加をご検討いただくとともに周知に御協力いただきますよう、お願いいたします。

【地区連長】地区連合定例会等で情報提供をお願いします。

【単位会長】定例会等で周知をお願いします。

（広報よこはま 10 月号で掲載）

ア　日時・場所

令和８年 11 月 13 日（金）13 時 30 分～16 時（13 時開場）磯子公会堂

※事前申込不要。要約筆記あり。

イ　内容

【第１部】磯子区社会福祉大会

社会福祉の推進に特に功績のあった個人または団体の表彰

【第２部】スイッチＯＮ磯子講演会

テーマ：「ちょっと聞いて！」が届く地域（まち）

～ 小さなタネまき × 広がる輪 ～

講師：西尾 敦史 氏（愛知東邦大学人間健康学部 教授）

澤岡 詩野 氏（東海大学健康学部 教授）

第５期計画の推進一年目にあたり、誰もができる、普段の暮らしの中での気づきを地域の支えあいにつなげていくための取組について考えます。

※詳細は、磯子区のホームページをご参照ください。

https://www.city.yokohama.lg.jp/isogo/kenko-iryo-fukushi/fukushi_kaigo/chiikifukushi/fukushi-plan/5ki/20261113.html

令和８年度磯子区社会福祉大会・スイッチＯＮ磯子講演会はこちら

ウ　問合せ先

磯子区福祉保健課 藤田・尾形・別紙

電話：０４５―７５０－２４４１ Fax：０４５―７５０－２５４７

メール：is-fukuhokeikaku@city.yokohama.lg.jp

（５）磯子区の災害医療体制とのぼり旗掲出訓練について（情報提供）

【福祉保健課】

磯子区では、毎年、病院・診療所・薬局合同で、のぼり旗掲出訓練を実施しています。本年度は、10 月 30 日（金）に実施しますので、ご承知おきください。

【地区連長】地区連合定例会等で情報提供をお願いします。

【単位会長】定例会等で情報提供をお願いします。

（広報よこはま 10 月号で掲載）

ア　実施概要

【日時】令和８年 10 月 30 日（金）

【訓練参加予定機関】

・磯子区医師会所属医療機関

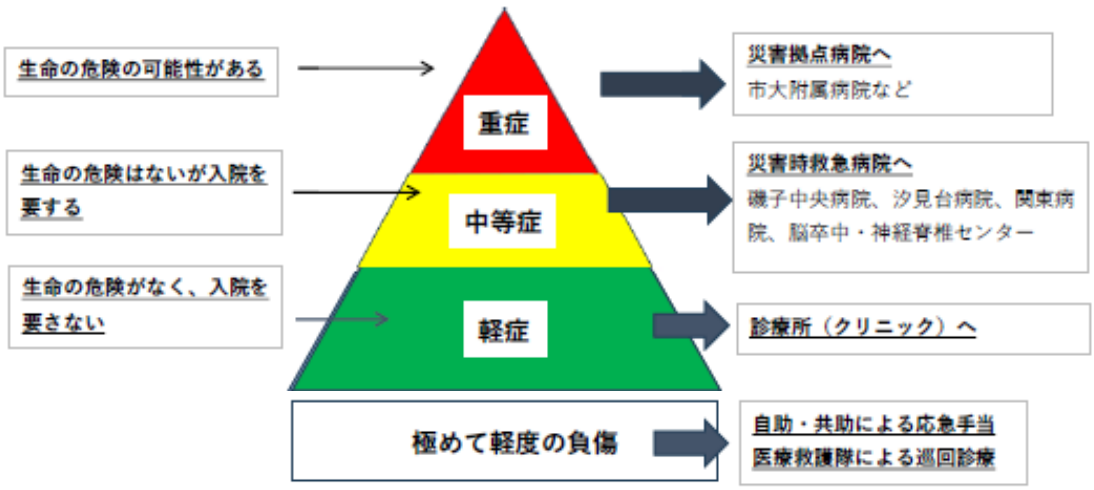
・磯子歯科医師会所属医療機関

・磯子区薬剤師会所属薬局

・磯子区内災害時救急病院

イ　災害時医療体制について

大規模災害時には、多くの負傷者が出ることが想定されます。限られた医療資源の中でできるだけ多くの命を救うためには、緊急度・重症度の高い方が必要な設備のある医療機関で可能な限り早く処置を受けられるようにする必要があります。災害時には緊急度・重症度に応じて、医療機関が分担して診療にあたります。



災害時は、診療が可能な病院・診療所・薬局にはのぼり旗が掲出されます。災害時、受診の必要が生じた場合には、可能な限り、のぼり旗「診療中（開局中）」を掲げているお近くの医療機関にご相談ください。

ウ　問合せ先

磯子区福祉保健課　保坂、中辻、仙、室本

電話：０４５―７５０－２４１１　FAX：０４５―７５０－２５４７

２　区社会福祉協議会

（１）「いそご更生保護だより」第 73 号の回覧について【区社会福祉協議会】

磯子保護司会と磯子区更生保護女性会共同発行の「いそご更生保護だより第 73 号」について、ご無理のない範囲で回覧のご協力をお願いいたします。

○ 問合せ先
磯子区社会福祉協議会 西谷
電話：０４５－７５１－０７３９ FAX：０４５－７５１－８６０８

３　その他

（１）資料配布

ア　汐見台自治会連合会だより　第 463 号

イ　年末年始の資源とごみの収集日程について

> 12 月 31 日（水）から１月３日（日）まで、収集をお休みさせていただきます。
> また、11 月区連会資料として掲示板数分チラシをお送りしますので、掲示板への掲出について、ご協力お願いいたします。

ウ　自治会町内会館脱炭素推進事業補助金の受付再開について

エ　横浜家事調停協会　調停手続相談会の開催について

次回開催日：令和８年 11 月 17 日（火）10：00

区連会ホームページ更新情報(令和８年９月 23 日～令和８年９月 30 日)



〇以下の自治会町内会で、活動情報・会報誌の更新を行っています。
是非、ご覧ください。（ 磯子区連合町内会長会 で検索！ ）

岡村中部自治会（岡村中部 NEWS １０月号　掲載）
岡村中部自治会（岡村中部秋祭り １０月１日～３日開催　掲載）
磯子山手町内会（やまて会報　令和８年 １０月号　掲載）

〇各自治会町内会の専用のアカウントでログインいただき、簡単に会の活動報告や会報誌をアップロードすることができます。ご活用ください。
※専用のアカウントがご不明な場合は、ご連絡ください。
（問合せ先：磯子区連合町内会長会事務局（磯子区役所地域振興課）　電話：750-2391）

〇区連会資料一式は、ホームページでご確認いただけますので、ご活用ください。

自治会町内会様式ダウンロードページについて

磯子区役所ホームページ内に自治会・町内会の皆様にご提出いただく様式の情報を集約して掲載するページ（自治会町内会向け様式ダウンロードページ）を開設しています。
是非、ご活用ください。（ 磯子区　自治会町内会向け様式ダウンロード で検索！）
【URL】
https://www.city.yokohama.lg.jp/isogo/kurashi/kyodo_manabi/kyodo_shien/jichichou/youshiki.html

磯子区町名別刑法犯認知件数等一覧

磯子区連合町内会長会資料
令和8年10月16日
磯子警察署 生活安全課

暫定値

令和8年9月末現在

町名		全刑法犯	凶悪犯	粗暴犯	特殊詐欺	オレオレ詐欺	キャッシュカード詐欺盗	窃盗犯	空き巣	ひったくり	オートバイ盗	自転車盗	車上ねらい	部品ねらい	万引き	その他	知能犯	ロマンス詐欺（投資）	その他	その他
区内全域	令和8年	605	5	71	28	28		401	8		36	136	8	25	77	111	49	22	27	51
	令和7年	519	4	26	38	33	5	347	7		23	121	14	25	65	92	34	5	29	70
	増減	86	1	45	−10	−5	−5	54	1		13	15	−6		12	19	15	17	−2	−19
磯子	令和8年	80		10	1	1		46			1	16		6	11	12	16	7	9	7
	令和7年	66	3		3	3		39				12	2	4	10	11	7		7	14
	増減	14		10	−2	−2		7			1	4	−2	2	1	1	9	7	2	−7
磯子台	令和8年	3			1	1		1								1				1
	令和7年	1						1				1								
	増減	2			1	1						−1				1				1
鳳町	令和8年	2						2								2				
	令和7年	0																		
	増減	2						2								2				
岡村	令和8年	49		2	3	3		36	1		2	8	2	9	4	10	5	2	3	3
	令和7年	36		2	7	7		23	1		1	4	2	3	3	9	2	1	1	2
	増減	13			−4	−4		13			1	4		6	1	1	3	1	2	1
上町	令和8年	2		1				1				1								
	令和7年	2						2				1		1						
	増減	0		1				−1						−1						
上中里町	令和8年	11			1	1		6	1		1	3				1	1	1		3
	令和7年	19		1				15			6	4		3		2				3
	増減	−8		−1	1	1		−9	1		−5	−1		−3		−1	1	1		
栗木	令和8年	9		2				6			1	1				4				1
	令和7年	9			2	1	1	5				5								2
	増減	0		2	−2	−1	−1	1			1	−4				4				−1
坂下町	令和8年	3						2				2								1
	令和7年	4			1	1		3				1		1		1				
	増減	−1			−1	−1		−1				1		−1		−1				1
汐見台	令和8年	10						5				1				4	2		2	3
	令和7年	12		1	2	2		8					1	2		5	1		1	
	増減	−2		−1	−2	−2		−3				1	−1	−2		−1	1		1	3
下町	令和8年	0																		
	令和7年	2						2				2								
	増減	−2						−2				−2								
新磯子町	令和8年	3		2				1								1				
	令和7年	3						2				1				1				1
	増減	0		2				−1				−1								−1
新杉田町	令和8年	16		1				13				5	1	1	2	4				2
	令和7年	13		1				10				7		1		2				2
	増減	3						3				−2	1		2	2				
新中原町	令和8年	1			1	1														
	令和7年	1															1		1	
	増減	0			1	1											−1		−1	
新森町	令和8年	0																		
	令和7年	1																		1
	増減	−1																		−1
杉田	令和8年	76	1	10	3	3		56			3	16	1	1	21	14	3	2	1	3
	令和7年	74		6	3	3		52	1		3	13	1	1	23	10	3		3	10
	増減	2	1	4				4	−1			3			−2	4		2	−2	−7

磯子区町名別刑法犯認知件数等一覧

暫定値

令和8年9月末現在

町名		全刑法犯	凶悪犯	粗暴犯	特殊詐欺	オレオレ詐欺	キャッシュカード詐欺盗	窃盗犯	空き巣	ひったくり	オートバイ盗	自転車盗	車上ねらい	部品ねらい	万引き	その他	知能犯	ロマンス詐欺 投資	その他	その他
杉田坪呑	令和8年	4		1				2				1		1						1
	令和7年	5						5				3				2				
	増減	−1		1				−3				−2		1		−2				1
滝頭	令和8年	23		2	3	3		17	2			9	1			5				1
	令和7年	22			1	1		15	1		3	2	3	1	1	4	2		2	4
	増減	1		2	2	2		2	1		−3	7	−2	−1	−1	1	−2		−2	−3
田中	令和8年	13		3	1	1		6			4	2					1		1	2
	令和7年	6			2	2		3					1	2			1	1		
	増減	7		3	−1	−1		3			4	2	−1	−2				−1	1	2
中浜町	令和8年	3		1				2			1	1								
	令和7年	6						5	2			3					1		1	
	増減	−3		1				−3	−2		1	−2					−1		−1	
中原	令和8年	23		3				14	1			2		1	4	6	3	2	1	3
	令和7年	19		2	1		1	10				4				6	3	1	2	3
	増減	4		1	−1		−1	4	1			−2		1	4			1	−1	
西町	令和8年	9		1				6			1	4			1		2		2	
	令和7年	9		2				6				5				1	1		1	
	増減	0		−1							1	−1			1	−1	1		1	
原町	令和8年	6	1					4			1	1				2				1
	令和7年	4			1	1		2			1					1				1
	増減	2	1		−1	−1		2				1				1				
馬場町	令和8年	2						2							1	1				
	令和7年	3		1				2				1				1				
	増減	−1		−1								−1			1					
東町	令和8年	17	1	3				13			1	8			1	3				
	令和7年	34		1				26				13	1	1	10	1	2		2	5
	増減	−17	1	2				−13			1	−5	−1	−1	−9	2	−2		−2	−5
久木町	令和8年	4						3				2				1				1
	令和7年	7						6				4			1	1				1
	増減	−3						−3				−2			−1					
氷取沢町	令和8年	13		4	1	1		4				1		2		1				4
	令和7年	7						6			3	1				2				1
	増減	6		4	1	1		−2			−3			2		−1				3
広地町	令和8年	8		3				5			1	1			3					
	令和7年	1						1								1				
	増減	7		3				4			1	1			3	−1				
丸山	令和8年	29		1				24	1		2	5	2	2	6	6	2		2	2
	令和7年	14	1	1	1	1		10			1	2	2	1	2	2				1
	増減	15	−1		−1	−1		14	1		1	3		1	4	4	2		2	1
峰町	令和8年	7						2								2	1	1		4
	令和7年	2						1								1				1
	増減	5						1								1	1	1		3
森	令和8年	84	1	13	4	4		59	1		6	23	1	1	10	17	5	3	2	2
	令和7年	53		5	3	3		28			1	5	1	1	6	14	7	2	5	10
	増減	31	1	8	1	1		31	1		5	18			4	3	−2	1	−3	−8
森が丘	令和8年	10		1	4	4		4			1					3				1
	令和7年	6			1	1		4	1					1		2				1
	増減	4		1	3	3			−1		1			−1		1				
洋光台	令和8年	85	1	7	5	5		59	1		10	23		1	13	11	8	4	4	5
	令和7年	78		3	10	7	3	55	1		4	27		2	9	12	3		3	7
	増減	7	1	4	−5	−2	−3	4			6	−4		−1	4	−1	5	4	1	−2

磯子警察署管内の人身交通事故発生状況



令和8年 10月号



1　発生件数

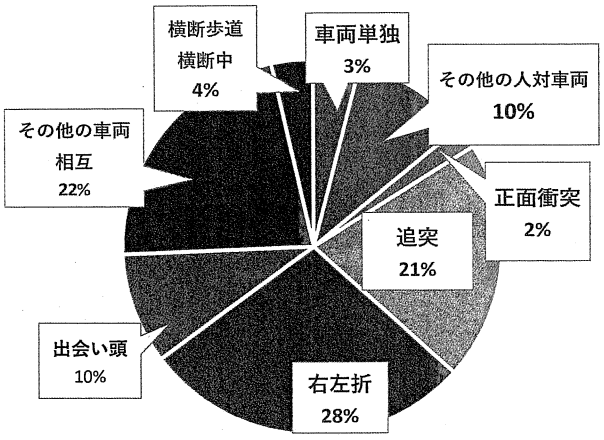
	発生件数	死者数	負傷者
本年累計	199	0	228
前年累計	192	3	209
前年比	+7	−3	+19

＊令和８年 9月末現在



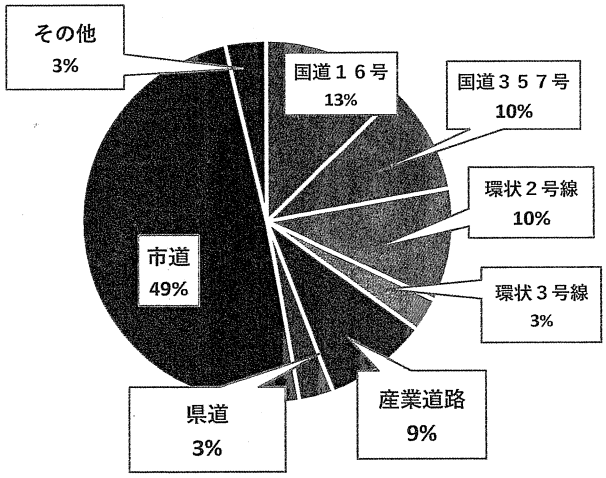
磯子区管内の9月中の人身交通事故の発生は、前年比プラスとなっており、神奈川県内でも交通死亡事故件数が全国ワースト１位となっています。みんなで交通安全を最優先とし、交通事故の減少に努めましょう。

2　類型別発生件数



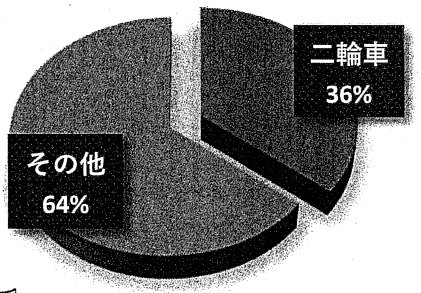
巻き込みがないか、目視でしっかりと確認し、自転車やバイクとの事故に注意しましょう。

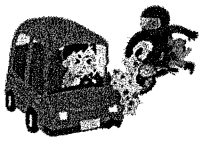
3　路線別発生件数



幹線道路では、速度の出しすぎに注意してください。

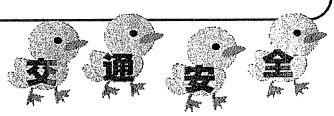
4　二輪車の事故

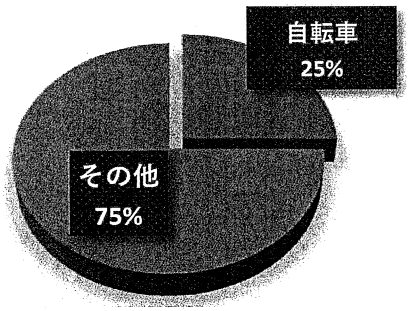




※全事故のうち二輪車が含まれる割合

5　自転車の事故





※全事故のうち自転車が含まれる割合



＊バイクは正面からだと速度や距離感が分かりづらいので注意して走行しましょう。
＊自転車に乗る際は、大人も子供もヘルメットの着用をお願いします。

季節の変わり目で、体調を崩しやすい時期です。自分の身体と相談して、体調が悪いときは運転も控えるようにしましょう



安全は心と時間のゆとりから

特殊詐欺にも注意しましょう！

磯子区のみなさんへ

生活道路※における自動車の法定速度が引き下げられます!!

※ここでいう「生活道路」とは、主に地域住民の日常生活に利用されるような、中央線などがない道路のことです。

令和8年9月1日
改正道路交通法施行令施行

60km/h → 30km/h

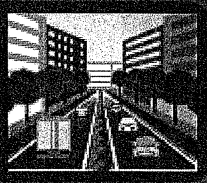


▽以下の道路における自動車の法定速度は引き続き60km/hです▽

1. 道路標識又は道路標示による中央線又は車両通行帯が設けられている一般道路



2. 道路の構造上又は柵その他の工作物により自動車の通行が往復の方向別に分離されている一般道路



3. 高速自動車国道のうち、本線車道並びにこれに接する加速車線及び減速車線以外のもの
4. 自動車専用道路

◆道路標識又は道路標示により最高速度が指定されている道路では、その速度が最高速度となります。例えば、道路標識により最高速度が40km/hと指定されている生活道路では、最高速度は30km/hではなく40km/hとなります。
◆決められた速度の範囲内であっても、道路や交通の状況、天候や視界などをよく考えて、安全な速度で走りましょう。

警察庁・都道府県警察



磯子警察署マスコットキャラクター


いそにゃん


いそっく


イソゴリくん



神奈川県警察　交通総務

公式X

磯子区連合町内会長会資料
令 和 ８ 年 10 月 16 日
磯 子 消 防 署 警 防 課

令和８年中の火災・救急状況

＜令和８年１月１日から令和８年９月 30 日まで＞

※数値は速報値であり、確定値ではありません。

■　区内の火災発生状況（９月）

・９月 21 日（月）磯子区　新中原町　　建物火災

■　区内の火災件数等

		令和７年	令和８年	増減
火災件数		３２件	２０件	－１２件
種別	建物	１５件	１３件	－２件
	林野	０件	０件	０件
	車両	３件	３件	０件
	船舶	１件	０件	－１件
	その他	１３件	４件	－９件
損床面積		１１３㎡	８２㎡	－３１㎡
死者数		１人	０人	－１人
負傷者数		１人	６人	５人

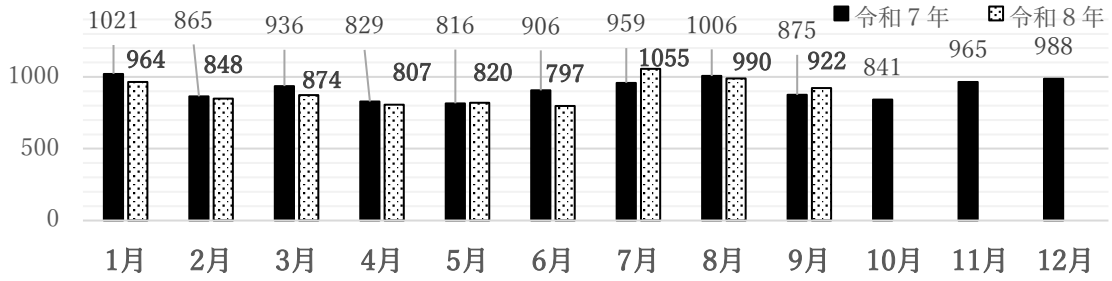
■　市内の火災件数等

		令和７年	令和８年	増減
火災件数		５９２件	５１９件	－７３件
種別	建物	３７９件	３３４件	－４５件
	林野	０件	１件	１件
	車両	４９件	４２件	－７件
	船舶	２件	０件	－２件
	その他	１６２件	１４２件	－２０件
焼損床面積		４，３７６㎡	５，０８４㎡	７０８㎡
死者数		１７人	１７人	０人
負傷者数		９０人	８０人	－１０人

■　区内・市内の救急件数

・区内 8,077 件（昨年比 137 件減）・市内 180,803 件（昨年比 2,207 件減）

～区内月別救急件数～



令和8年秋季全国火災予防運動を実施します！

～11 月9日(月)から 11 月 15 日(日)まで～

「火の確認　いい日を支える　いい習慣」

秋から冬にかけては空気が乾燥し、火災が発生しやすい季節となります。近年は、モバイルバッテリーなどのリチウムイオン電池や電気コード、コンセントなどが原因となる「電気火災」が増加しており、磁子区内においても、電気機器等が原因となる火災が発生しています。

身近な電気製品の使い方を見直し、火災を未然に防ぎましょう。

電気火災を防ぐには・・

・コンセントはしっかり差し込み、プラグにほこりが溜まらないよう、定期的に掃除しましょう。

・たこ足配線を避け、電気コードは束ねたまま使わないようにしましょう。

・モバイルバッテリー等に衝撃を与えない、変形したものは使用しないようにしましょう。



磁子区防火防災フェアを開催します！

詳細は▲

日時　11 月7日(土)　午前 10 時から午後2時

場所　磁子区役所

内容　消防音楽隊の演奏、バッテリーカー(消防車・救急車)乗車体験、消防車両展示、電気火災実験、消防缶バッチづくり、ゲーム形式の防災訓練体験など、大人もこどもも楽しく防災について学べる体験型イベントです。是非ご来場ください。







区連会 10 月定例会説明資料
令和 8 年 10 月 16 日
みどり環境局
戦略企画課
総務局税務課

横浜みどりアップ計画[2024-2028]2年目の実績報告について【情報提供】

1　報告の趣旨

横浜みどりアップ計画につきましては、2009 年度から、横浜みどり税を財源の一部として活用させていただきながら、緑の保全・創出に向けた様々な事業・取組を推進しています。

2024 年４月からは４期目となる新たな５か年計画[2024-2028]に取り組んでいます。

このたび、２年目の 2025 年度を振り返り、取組の成果をまとめた実績報告書を作成しましたのでご報告いたします。

2　お願いしたいこと

【区連長】ご承知おきください。

【地区連長】地区連合定例会等で情報提供をお願いします。

【単位会長】単位会長あて資料を送付します。定例会等で情報提供をお願いします。

3　配布資料

（１）　横浜みどりアップ計画[2024-2028]概要版冊子
（２）　２年目（2025 年度）の実績概要
（３）　２年目（2025 年度）の区別実績
（４）　「横浜みどり税」の説明チラシ
（５）　横浜みどりアップ計画の制度ガイド

【問合せ】
横浜みどりアップ計画の広報に関すること
みどり環境局戦略企画課　TEL：671-2712　FAX：550-4093

横浜みどり税に関すること
総務局税務課　TEL：671-2253　FAX：641-2775

横浜
みどりアップ計画













横浜みどりアップ計画［2024-2028］（概要版）

横浜みどりアップ計画

暮らしのなかに
ふと気づけば緑があるということ

毎日の生活を豊かに、そして未来を担う子どもたちに、
横浜の豊かな緑をつなげていくため
市民の皆様とともに「横浜みどりアップ計画」を進めていきます。



美しく潤いのある
景観



暑さを和らげる



環境教育・農体験

横浜
みどりアップ計画

「横浜みどりアップ計画」は、
「横浜市水と緑の基本計画」の重点的な取組として
策定された5か年計画です。
緑の減少に歯止めをかけ、「緑豊かなまち横浜」を
次世代に継承するため、
「横浜みどり税」を財源の一部に
活用し取組を推進しています。



健康づくり・
レクリエーション



多様な生き物の
すみか



防災・減災

暮らしを支え、豊かにする緑

緑は、都市環境を形成する主要な要素です。
暮らしに潤いを与えるだけでなく、防災・減災に資する機能をはじめとした
グリーンインフラとしての多様な機能を有しています。
そして、これらの機能が発揮されることで、地球温暖化対策や
SDGsの達成に寄与し、ネイチャーポジティブ※の実現にもつながっていきます。

防災・減災




雨を蓄えて浸水被害を抑えるほか、
オープンスペースとして避難場所や
火災延焼防止機能などの
防災・減災につながっています。

健康づくり・レクリエーション




散策をはじめ、市民の身近な遊び場、
憩いの場、健康づくりの場
となっています。

環境教育・農体験




自然とふれあう環境が身近にあることで、
暮らしを取り巻く環境に対する興味や
関心を持つきっかけとなっています。

暑さを和らげる




木陰の涼しさや、まとまった緑地が
日中の気温上昇を抑えるなど、
暑さを和らげる効果があります。

美しく潤いのある景観




快適で美しく潤いのある景観や、
自然と歴史に基づく個性と
風格のある景観をつくっています。

多様な生き物のすみか




樹林地や農地などが、健全に保たれ、
まとまりやつながりを持つことで、
多様な生き物のすみかとなっています。

地産地消

街の魅力向上・賑わいの創出

コミュニティ形成

文化

※ネイチャーポジティブ：「生物多様性の損失を食い止め、反転させ、回復軌道に乗せる」ことを意味し、2022年の国連生物多様性条約第15回締約国会議（COP15）で設定された新たな国際目標において、その方向性が明確に示されている。

緑とともにある横浜の暮らし

横浜の中心市街地から少し郊外へ行くと、多様な生き物が暮らす豊かな森や、水田・畑地が広がる美しい農景観が保全され、緑が街を包みこんでいます。街なかに目を向けると、樹々や花が美しく彩られ、潤いと賑わい、街並みに風格をもたらしています。横浜には、市民・企業の皆様とともにまもり、つくり、育んできたかけがえのない緑が暮らしの身近な場所にあります。



横浜みどりアップ計画［2024-2028］の方向性

多様なコミュニティの形成や市民活動の支援の拡充

全市域に広がっている緑や花に関する活動への支援を充実させ、さらに展開させることで、活発な市民活動が行われている姿を目指します。

地域で取り組む緑化活動





森を支える森づくりボランティア



市民が緑に関わる取組のさらなる展開

市民が緑にふれ、感じることができるよう、魅力的な空間づくりや体験イベントの開催をはじめ、これまで確保してきた緑のストックの一層の活用を進めます。

緑花による魅力ある空間づくり



農体験



地産地消にふれる機会



身近な緑の着実な確保と維持管理による質の向上

引き続き身近な緑の場を保全・創出して良好な育成を進めることで、都市環境を形成する主要な要素である緑のもつ多様な機能を効果的に発揮させていきます。

まちなかでの緑の創出・育成

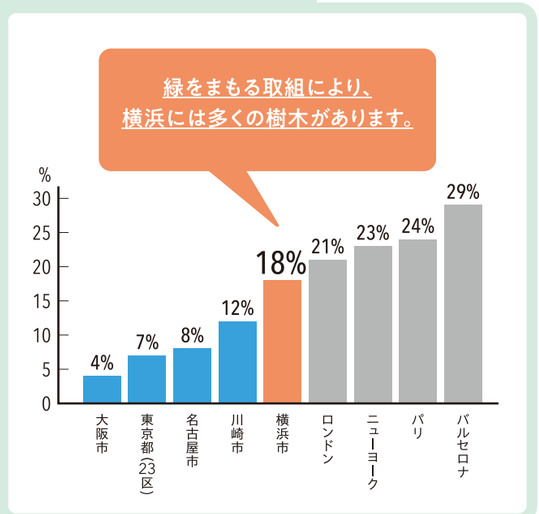


森の保全と 良好な育成



取組の意義や成果、緑がもたらす効果をわかりやすく伝え、取組の共感と、緑のある暮らしの実感につながる広報を展開。

［都市別］
樹木エリアの割合比率



Googleの温室効果ガス排出量推計ツール
(EIE：Environmental Insights Explorer)より
https://insights.sustainability.google/



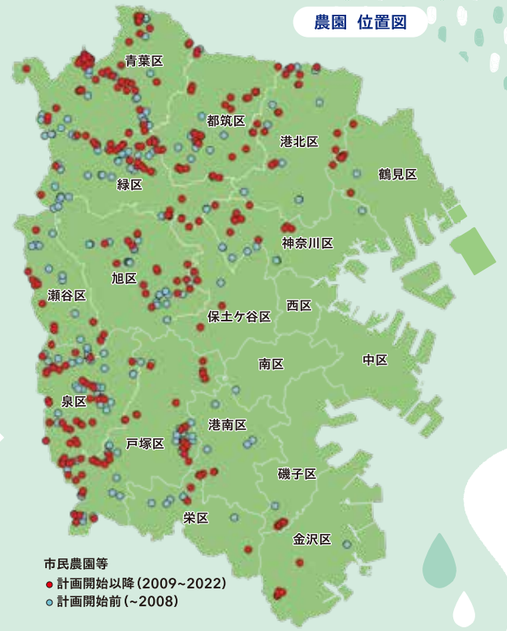
農に親しむ

–横浜の農園で収穫体験–

ココに横浜※みどり税

実は農業も盛んで、農地面積は県内ナンバー1。暮らしに身近な「農」が横浜の魅力です。市内には、野菜や果物の収穫を気軽に体験できる農園から、本格的な農作業ができる農園まで、多くの農園があります。農体験に参加したり、横浜で採れた旬の野菜や果物などを味わったり、横浜ならではの農の魅力を感じてみませんか。

※収穫体験農園開設支援・農園付公園の整備









みどりアップ計画による体験・イベントスポットはこちら!









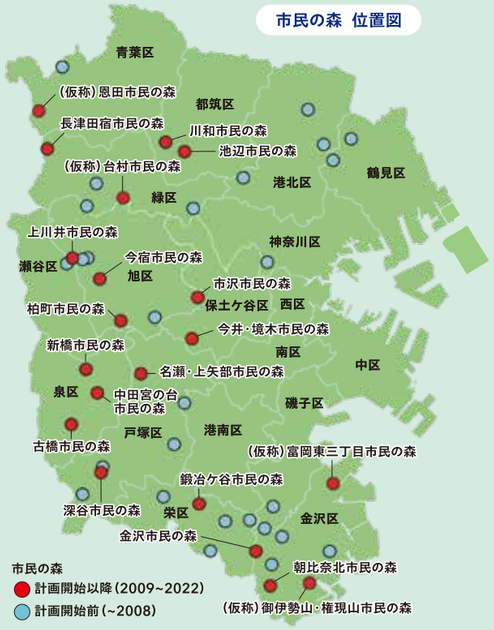
森を愉しむ

–市民の森を散策–

ココに横浜※みどり税

市内には、散策が楽しめる市民の森が43か所あります。また、市内5か所には「ウェルカムセンター」があり、子どもから大人まで幅広い方々が、横浜の森を知って親しみ、楽しむことができるよう、情報の発信やイベントの開催をしています。横浜の森で自然を感じてみませんか。

※市民の森の整備・維持管理











街なかで緑や花を感じる

–季節を感じる街歩き–

ココに横浜※みどり税

街を歩けば、地域で育まれた緑や花を感じることができます。横浜では、多くの市民力により、地域ならではの緑や花の空間が彩られています。地域で取り組む緑化活動は、人と人とのつながりを生むことも。緑や花に季節を感じながら、街歩きを楽しんでみませんか。

※地域緑のまちづくり事業

地域緑のまちづくり 実施地区

（地域主体となった緑化活動）



● 地域緑のまちづくり協定締結地区

（2022年度末時点）

横浜みどりアップ計画［2024-2028］の体系・5か年事業費

計画の理念

みんなで育む
みどり豊かな美しい街
横浜

5か年の目標

1 緑の減少に歯止めをかけ、総量の維持を目指します

2 地域特性に応じた緑の保全・創出・維持管理の充実により緑の質を高めます

3 市民と緑との関わりを増やし、緑とともにある豊かな暮らしを実現します

柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む　事業費 303億円（86億円）

施策1 まとまりのある樹林地の保全・活用	事業① 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り	252億円（37億円）
	事業② 良好な森の育成	46億円（46億円）
	事業③ 森に関わる多様な機会の創出	5億円（3億円）

柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる　事業費 34億円（10億円）

施策1 農に親しむ取組の推進	事業① 良好な農景観の保全	11億円（4億円）
	事業② 農とふれあう場づくり	20億円（7億円）
施策2 「横浜農場」の展開による地産地消の推進	事業③ 身近に農を感じる地産地消の推進	2億円（–）
	事業④ 市民や企業と連携した地産地消の展開	0.7億円（–）

柱3 市民が実感できる緑や花をつくる　事業費 77億円（46億円）

施策1 市民が実感できる緑や花の創出・育成	事業① まちなかでの緑の創出・育成	33億円（26億円）
施策2 ガーデンシティ横浜の更なる推進	事業② 緑や花があふれる地域づくり	12億円（6億円）
	事業③ 子どもを育む空間での緑の創出・育成	4億円（0.8億円）
	事業④ 緑や花による魅力・賑わいの創出・育成	27億円（14億円）

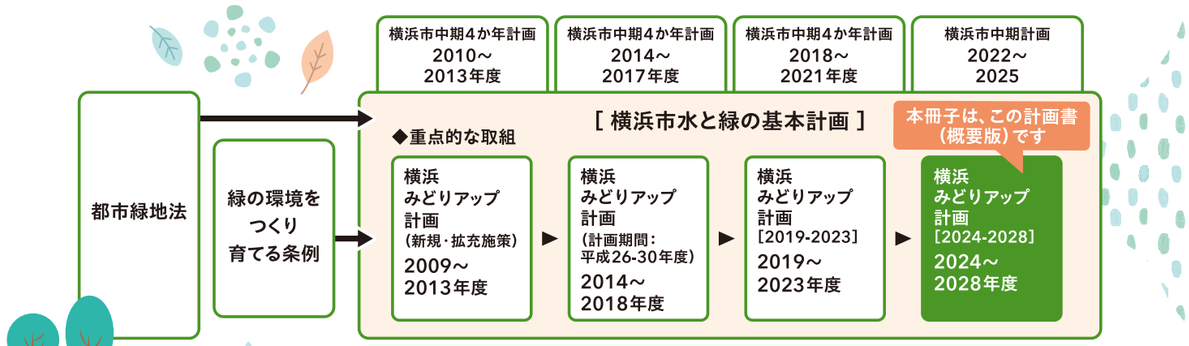
効果的な広報の展開　事業費 0.8億円（–）

事業① 市民の理解を広げる広報の展開	0.8億円（–）

総事業費 415億円（142億円）

※事業費の（　）はうちみどり税を記載しています。端数調整により合計値が整合しない場合があります。

計画の位置付け



横浜みどりアップ計画[2024-2028]を進めるにあたって

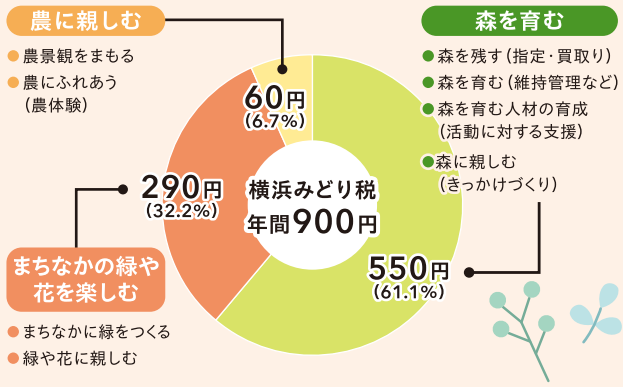
計画を進めるための財源について

横浜市では、緑の保全・創出に取り組むために必要な安定的な財源を確保するため、2009（H21）年度から市民の皆様にご負担いただいている「横浜みどり税」について、引き続き2024（R6）年度から2028（R10）年度までのご負担をお願いし、この計画の重要な財源の一部として活用していきます。

対象	税率
個人	市民税の均等割に年間900円上乗せ※
法人	市民税の年間均等割額の9%相当額

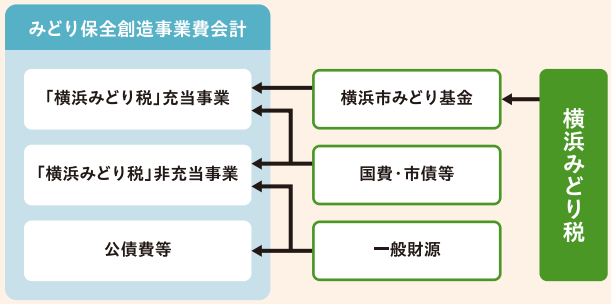
※所得が一定金額以下で市民税均等割が課税されない方を除きます。

横浜みどり税（年間900円）の使いみち



横浜みどり基金と特別会計（みどり保全創造事業費会計）

横浜みどり税は、市民税の超過課税の形でご負担をお願いするものですが、その税収の使途は横浜みどりアップ計画に限定されます。そこで、この税収を管理する基金を設置することにより、他の一般財源から明確に分離するとともに、年度間の財源調整も行います。
また、横浜みどり税の使途を明確にするためには、横浜みどり税を充当して実施する事業のみならず、横浜みどりアップ計画全体について、その内容や進捗状況を他の施策と分離して明らかにしていく必要があります。そこで、横浜みどり税非充当事業（既存事業費等）を含めた横浜みどりアップ計画全体を対象とする特別会計により、横浜みどり税の使途を明確にします。



横浜みどりアップ計画市民推進会議

「横浜みどりアップ計画」の推進に向け、市民参加の組織により、みどりアップ計画の評価及び意見・提案、市民の方への情報提供等を行うことを目的として、公募市民や学識経験者などからなる「横浜みどりアップ計画市民推進会議」が2009（H21）年に設置され、2012（H24）年からは横浜市附属機関設置条例に基づく附属機関に位置付けられています。
市民推進会議では、みどりアップ計画の取組の検証や現地調査を行い、評価・提案を報告書にまとめています。


全体会議


現地調査

市民推進会議についてはこちら

お問合せ先 「横浜みどりアップ計画」について：みどり環境局戦略企画課　TEL：045-671-4214　FAX：045-550-4093　mk-mimiplan@city.yokohama.lg.jp
「横浜みどり税」について：総務局税務課　TEL：045-671-2229　FAX：045-641-2775　so-zeimu@city.yokohama.lg.jp

横浜みどりアップ計画[2024-2028]〈冊子〉は、次の場所で閲覧できます。

●各区役所の広報相談係　●市民情報センター（市庁舎3階）　●みどり環境局ウェブサイト

横浜みどりアップ計画[2024-2028]概要版　令和6年6月発行
編集・発行：みどり環境局戦略企画課

みどりアップ計画[2024-2028]はこちら

2025年度の実績概要と今後の展望

横浜市では、緑の保全・創出を進め、横浜の緑を次世代に引き継ぐため、2009年度から「横浜みどりアップ計画」に取り組んでいます。2024年度からは、第4期となる「横浜みどりアップ計画［2024－2028］」に基づき、市民の皆様とともに、森や農、緑や花を身近に感じられるまちづくりを進めています。

柱 1　市民とともに次世代につなぐ森を育む （2-8～2-23）

市内の樹林地を保全するため、緑地保全制度による40.7haの樹林地の新規指定や、17.8haの買取り対応を進めたほか、市民の森を2か所開園しました。引き続き、樹林地の指定・買取り・整備を着実に進めるとともに、多様な主体との連携により、森づくりの担い手育成と、市民が森に関わる機会の充実を図ります。

柱 2　市民が身近に農を感じる場をつくる （2-24～2-47）

市内の水田112.3haを維持し、良好な農景観を保全するための支援をしました。また、収穫体験農園や横浜ふるさと村、恵みの里での農体験、直売所等の開設、はまふぅどコンシェルジュの活動などを支援し、農とのふれあいや地産地消を推進しました。引き続き、農景観の保全と身近に農とふれあえる場づくりを進め、市民・企業等との連携も深めていきます。

柱 3　市民が実感できる緑や花をつくる （2-48～2-69）

横浜開港資料館など3か所の緑地を再整備したほか、桜並木等の再生、地域の緑化活動への支援、保育園や幼稚園、小中学校など子どもたちが過ごす施設40か所において緑を創出するとともに、都心臨海部や新横浜駅周辺の14か所で緑や花による良好な空間づくりを進めました。今後も、市民・事業者との協働や継続的な維持管理により、身近な緑や花を育んでいきます。

広報　効果的な広報の展開 （2-70～2-72）

広報紙、デジタルサイネージ、交通広告、イベント出展、こども向けリーフレット等を活用し、「横浜みどりアップ計画」と「横浜みどり税」について幅広い世代への情報発信に取り組みました。今後も緑の取組に関する市民アンケート等を事業改善に生かし、分かりやすく伝わる広報を通じて、計画への理解と共感につなげていきます。

今後の展望

引き続き、各柱の取組を着実に進めることで、市民生活を支え、潤いをもたらす貴重なみどりを次世代に継承していくとともに、保全したみどりを安全で良好に育み、市民の皆様がその魅力や大切さを身近に実感できる取組を一層強化していきます。あわせて、横浜グリーンエクスポを通じて生まれる気づきや行動、人や地域のつながりを、開催後の地域活動や次世代の担い手づくりへ展開し、人と自然が共生する持続可能な都市・横浜の実現につなげていきます。

柱1



長津田町長月特別緑地保全地区（緑区）



上菅田町市民の森（保土ケ谷区）

柱2



上飯田町（泉区）



舞岡ふるさと村（戸塚区）

柱3



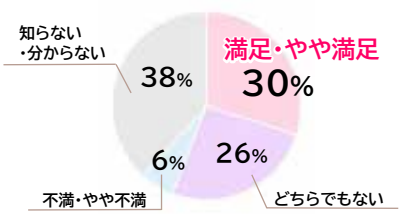
横浜開港資料館（中区）



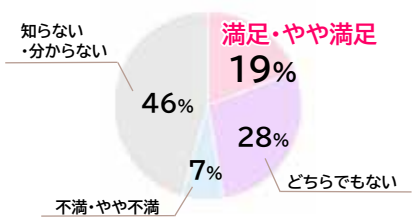
中屋敷保育園（瀬谷区）

市民アンケート※の評価　※2025年度実施　横浜市の緑の取組に関するアンケート調査

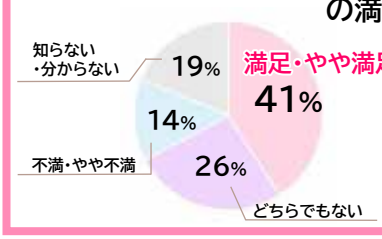
まとまりのある森の保全の満足度



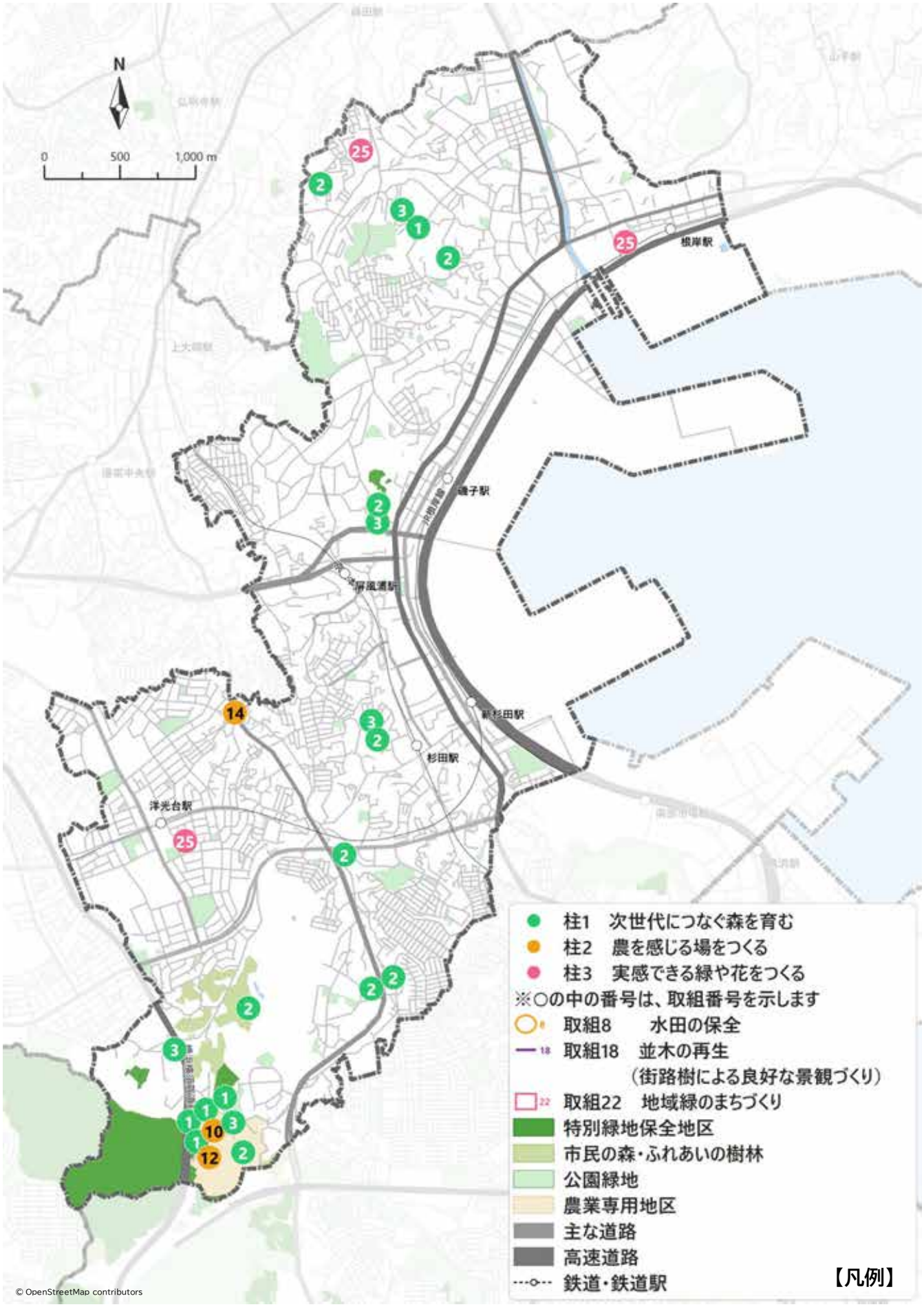
良好な農景観の保全の満足度



街なかなど身近な場所での緑化の満足度



磯子区における実績


N
0
500
1,000 m
磯子駅
根岸駅
屏風浦駅
新杉田駅
杉田駅
洋光台駅
柱1 次世代につなぐ森を育む
柱2 農を感じる場をつくる
柱3 実感できる緑や花をつくる
※○の中の番号は、取組番号を示します
取組8 水田の保全
取組18 並木の再生
（街路樹による良好な景観づくり）
取組22 地域緑のまちづくり
特別緑地保全地区
市民の森・ふれあいの樹林
公園緑地
農業専用地区
主な道路
高速道路
鉄道・鉄道駅
【凡例】
© OpenStreetMap contributors

柱1　市民とともに次世代につなぐ森を育む

取組1　緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り

新規指定　緑地保存地区　岡村二丁目



取組6　森に関わるきっかけづくり

区主催のイベントでのクラフト教室の開催
夏休み作品教室　根岸地区センター



柱2　市民が身近に農を感じる場をつくる

取組10　農景観を良好に維持する活動の支援

農地縁辺部への植栽
氷取沢畑地かんがい組合



柱3　市民が実感できる緑や花をつくる

取組23　地域に根差した緑や花の楽しみづくり

緑や花を身近に感じる各区の取組
カクテルコスモス花壇　根岸馬場町公園



取組23　地域に根差した緑や花の楽しみづくり

地域の花いっぱいにつながる取組
球根・堆肥の配布　栗木中村公園



取組24　人生記念樹の配布

JA横浜ハマッ子直売所メルカート磯子店



柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む

●取組1 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り

・緑地保全制度による新規指定

緑地保存地区 0.02ha
岡村二丁目

・市による買取り

特別緑地保全地区 1.18ha
円海山近郊緑地特別保全地区（磯子区分）（3か所）

・保全した樹林地の整備

1か所 峯市民の森

●取組2 森の多様な機能に着目した森づくりの推進

・森の維持管理

樹林地 9か所
森浅間社特別緑地保全地区／氷取沢市民の森／峯市民の森／岡村一丁目緑地／岡村四丁目緑地／上中里緑地／杉田九丁目緑地／杉田坪呑緑地／中原四丁目緑地

●取組3 指定した樹林地における維持管理の支援

・維持管理の助成

5か所 岡村二丁目／中原四丁目／氷取沢町／峰町／森二丁目

●取組6 森に関わるきっかけづくり

・市内大学や関連団体などとの連携や区主催による地域の森でのイベントの実施

9回 各種イベント（2回）／クラフト教室等（7回）

柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる

●取組10 農景観を良好に維持する活動の支援

・まとまりのある農地を良好に維持する団体の活動への支援

農地縁辺部への植栽 1件
氷取沢畑地かんがい組合

●取組12 様々な市民ニーズに合わせた農園の開設

・様々な市民ニーズに合わせた農園の開設

市民農園 0.04ha
氷取沢町

●取組14 地産地消にふれる機会の拡大

・地産地消にふれる機会の拡大

直売所・青空市等の支援
直売所・加工所 1件
田中二丁目

柱3 市民が実感できる緑や花をつくる

●取組18 街路樹による良好な景観づくり

・街路樹による良好な景観づくり

良好な維持管理 721本
洋光台通り（洋光台団地1号線）／磯子産業道路

●取組23 地域に根差した緑や花の楽しみづくり

・緑や花を身近に感じる各区の取組

各区の取組
公園と区役所の魅力向上事業
身近な公共施設での緑の育成 5か所
磯子区庁舎／滝頭コミュニティハウス／市道新杉田第117号線／横浜市社会教育コーナー／杉田臨海緑地
地域の花いっぱいにつながる取組
球根の配布（汐見台二丁目公園など48か所）／花苗の配布（洋光台南公園など19か所）／堆肥の配布（磯子腰越公園など49か所）

●取組24 人生記念樹の配布

・人生記念樹の配布

425本

●取組25 保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出・育成

・保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出・育成

緑の創出 1か所
根岸中学校
緑の育成 2か所
洋光台第二保育園／岡村小学校

よこはまの緑を
未来を担う
子どもたちのために

暮らしを支え、豊かにする緑を未来に残すために、
横浜市は、市民・事業者の皆様に「横浜みどり税」をご負担いただき、
緑をまもり、つくり、育む「横浜みどりアップ計画」を進めています。



横浜みどり税について

横浜みどり税の税額

個人市民税均等割に年間 **900円** を上乗せ

※法人の場合は、年間均等割額の9%相当額を上乗せ

※課税年度は、令和10年度までです。

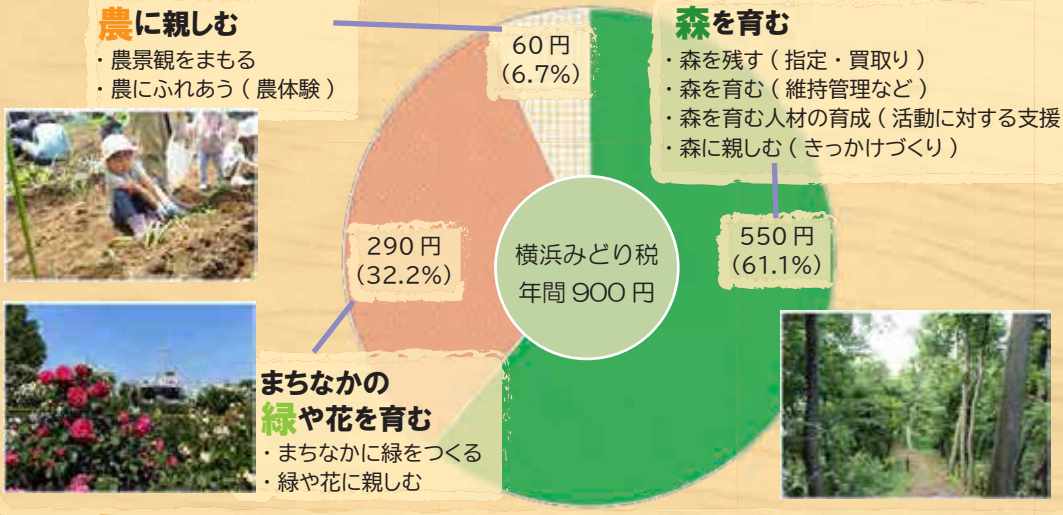


横浜みどり税の使途

「横浜みどりアップ計画」のうち、下記の横浜みどり税の使途に該当する事業へ横浜みどり税を充当します。

- 樹林地・農地の確実な担保
- 身近な緑化の推進
- 維持管理の充実による みどりの質の向上
- ボランティアなど市民参画の促進につながる事業

横浜みどり税（年間900円）の使いみち



横浜みどりアップ計画［2024−2028］

計画の理念　みんなで育む　みどり豊かな美しい街　横浜

５か年の目標

・緑の減少に歯止めをかけ、総量の維持を目指します
・地域特性に応じた緑の保全・創出・維持管理の充実により緑の質を高めます
・市民と緑との関わりを増やし、緑とともにある豊かな暮らしを実現します

みどり税を活用した取組

市民とともに次世代につなぐ森を育む

５か年の主な取組

- 樹林地の新規指定と買入れ申し出への対応
- 指定樹林地への維持管理支援
- 森に親しむきっかけづくり

市民が身近に農を感じる場をつくる

５か年の主な取組

- 水田保全への支援
- 農園の開設など、農とふれあう機会の全市的な展開

市民が実感できる緑や花をつくる

５か年の主な取組

- まちなかでの緑の創出や街路樹等による景観づくり
- 地域での緑や花の取組支援
- 子どもを育む空間での緑の創出・育成

市民・事業者の皆様に取組の意義や成果、緑がもたらす効果をわかりやすく伝えることで、取組への共感と、緑のある暮らしの実感につながる**広報**を展開

森林環境税（国税）と横浜みどり税



Q　国の森林環境税と横浜みどり税はどう違うの？

A　目的と使いみちが異なります。

森林環境税は、林業が成り立たない地方の山間部の森林整備や、国産木材の利用促進を主な目的として創設されました。横浜市では、木材利用の促進を図るため、学校施設や公園などの市民利用施設の木材利用工事に活用しています。

横浜みどり税は、市内の緑の保全・創造を目的としたものであり、樹林地の買い取りや、まちなかでの緑の創出などに活用しています。森林環境税と横浜みどり税は、趣旨と使いみちが異なります。

●森林環境税（国税）・森林環境譲与税について

趣旨（目的）	わが国の温室効果ガス排出削減目標の達成や災害防止等を図るための地方財源を安定的に確保するため
課税手法・税率	年間 1,000 円を個人住民税と併せて賦課徴収
課税期間	令和６年度から
市町村への譲与	国が令和元年度から一定の基準で 譲与 （令和5年度までは、 地方公共団体金融機関の準備金を活用）
使いみち	間伐や人材育成・担い手の確保、木材利用の促進や普及啓発等の森林整備及びその促進に関する費用

※このほか、神奈川県では、水源環境保全・再生のために、個人県民税に対する超過課税を実施しています。

【お問い合わせ】

●「横浜みどり税」について
▶区役所税務課　または　総務局税務課　電話：045-671-2253　FAX：045-641-2775

●「横浜みどりアップ計画[2024−2028]」について
▶みどり環境局戦略企画課　電話：045-671-4214　FAX：045-550-4093

令和８年４月　横浜市総務局税務課

横浜みどりアップ計画

地域・個人で利用できる！横浜みどりアップ計画の制度ガイド

～ 街の緑が、暮らしを豊かにする ～

横浜みどりアップ計画には、**地域や個人の方が利用できる制度**もあります。
「こんなことがしたい」から探せるようにまとめています。

地域・団体で取り組む　個人・ご家庭で使える　参加・受講する

地域・団体で取り組む

①

地域で花植えや植樹に取り組みたい
制度名：地域緑のまちづくり

【お問合せ先】
環境活動事業課（緑化担当）
045-671-3447

【できること】住宅地・商店街などで、地域にふさわしい緑を増やす取組を支援します。
【支援内容】最大3年間 1,500万円まで （整備費90%以内 ほか）
【対象】地域が主体となって緑化計画を提案する団体（選考あり）

②

森づくりの活動を充実させたい
制度名：森づくり活動団体への支援

【お問合せ先】
環境活動事業課（森づくり担当）
045-671-2624

【できること】保全管理計画づくり、研修、道具の貸出し、チップ化作業、アドバイザー派遣などをサポートします。
【支援内容】研修・道具貸出・アドバイザー派遣等の各種サポート
【対象】市民の森・都市公園内などの樹林地で活動する団体

個人・ご家庭で使える

③

家族の思い出になる木を育てたい
制度名：人生記念樹の配布

【お問合せ先】
環境活動事業課（緑化担当）
045-671-3447

【できること】出生・結婚などの記念に、市内で生産された記念の苗木をお渡しします。
【支援内容】記念の苗木を配布（年2回・6月頃と10月頃／市内各所で配布）
【対象】記念を迎える横浜市民（郵送・インターネットで申込）

④

歴史ある樹木を次世代に残したい
制度名：名木古木の保存

【お問合せ先】
環境活動事業課（緑化担当）
045-671-3447

【できること】町の象徴として親しまれてきた由緒ある樹木を「名木古木」に指定し、保存を支援します。
【支援内容】診断50%（上限4万円）・治療50%（上限30万円）・管理50%（上限20万円）
【対象】由緒ある樹木の所有者（指定には審査あり）

⑤

所有している森の管理への支援を受けたい
制度名：樹林地維持管理助成

【お問合せ先】
環境活動事業課（森づくり担当）
045-671-2624

【できること】緑地保全制度に指定された民有樹林地の、越境樹木や危険樹木などの管理作業を助成します。
【支援内容】A:樹木管理・草地管理の作業は50万円まで100%（超過分50%）
B:フェンス・土留め設置50%
（AB合わせて上限200万円）
【対象】緑地保全制度に指定されている民有樹林地の所有者

参加・受講する

⑥

森づくり活動に参加したい
制度名：森づくりボランティア

【お問合せ先】
環境活動事業課（森づくり担当）
045-671-2624

【できること】入門講座や体験会などに参加でき、横浜の森づくり活動に加わることができます。
【支援内容】各種研修の受講・体験会への参加・情報発信
【対象】18歳以上で市内在住・在学・在勤の個人または市内事業者

⑦

農作業や緑の手入れを基礎から学びボランティアとして活動したい
制度名：市民農業大学講座

【お問合せ先】
環境活動支援センター
045-711-0635

【できること】野菜・果樹・花き・樹木の栽培管理を実習中心で学び、修了後は「農と緑の環境リーダー」として援農や緑化ボランティアで活躍できます。
【講座内容】2年間の講座（1年次35回＋2年次の農家実習10回）（別途受講料あり）
【対象】市内在住67歳以下で、修了後に援農・緑化ボランティアの意思がある方（定員30人・多数時は選考／年1回・2～3月募集）

⑧

横浜の食と農をつなぎ地産地消を広めたい
制度名：はまふぅどコンシェルジュ講座

【お問合せ先】
農業振興課（地産地消担当）
045-671-2639

【できること】横浜の農業・農産物・生産者・食をテーマに、講義・実習・視察で地産地消の理解を深める連続講座です。修了すると「はまふぅどコンシェルジュ」に認定されます。
【講座内容】全5回の連続講座（講義・バスツアー・農体験・料理教室・グループワーク）（別途受講料あり）
【対象】地産地消の実践・普及に積極的に取り組む意思のある方（定員20名・多数時は選考／年1回・3月募集）



◆制度ガイドに関するお問合せ先
みどり環境局戦略企画課
電話 045-671-2712 ／ FAX 045-550-4093
Eメール mk-midorikoho@city.yokohama.lg.jp

◆各事業お問合せ先

市連会 10 月定例会説明資料
令 和 8 年 10 月 13 日
脱炭素・GREEN×EXPO 推進局
GREEN × EXPO 推進課

横浜グリーンエクスポ開催半年前メディア発表会の開催及び「ヨコハマ18（イチハチ）コレクション」参加者募集への協力について【情報提供】

1　趣旨

「横浜グリーンエクスポ開催半年前メディア発表会」を開催し、横浜市出展「つなぐ横浜館」「つなぐ横浜フィールド」の名称や、市主催催事「YOKOHAMA GREEN CHALLENGE WEEK」「ヨコハマ18（イチハチ）コレクション」などの概要を発表しました。また、「ヨコハマ18（イチハチ）コレクション」では、ステージパフォーマンスの参加者を12月28日まで募集しています。

2　お願いしたいこと

【区連長】　ご承知おきください。
【地区連長】地区連合定例会等で情報提供をお願いします。
【単位会長】単位会長あて資料を送付します。定例会等で情報提供をお願いします。

3　内容（添付の記者発表資料をご参照ください）

(1)　「横浜グリーンエクスポ開催半年前メディア発表会」を開催

横浜市出展の名称を「つなぐ横浜館」及び「つなぐ横浜フィールド」に決定したことを発表したほか、「YOKOHAMA GREEN CHALLENGE WEEK」や「ヨコハマ18（イチハチ）コレクション」など、市主催催事の概要を紹介しました。また、市内10の大学・専門学校で活動する「EXPO部」の始動、「横浜ネイチャークエスト」の実施、横浜都心臨海部と会場を結ぶ直行バスの運行ルートの発表、TDMパートナー向けステッカーの配布など、開催に向けた多彩な取組を発表しました。

(2)「ヨコハマ18（イチハチ）コレクション」開催決定　ステージパフォーマンス出演者を募集

横浜グリーンエクスポ会期中、地域で活躍する区民の皆さまが主役となり、「食」と「エンターテインメント」を通じて、横浜18区それぞれの個性や地域の特色を紹介するとともに、地域で育まれてきた文化や伝統、特産品、地域活動など、多彩な魅力を発信いただくイベント「ヨコハマ 18 コレクション」を開催します。

開催にあたり、音楽やダンス、演劇などのステージパフォーマンス参加者を、12月28日まで募集しています。区の特産品や地産地消の飲食物などを扱うブース出展者についても、11月2日から募集を開始する予定です。

多くの皆さまのご応募をお待ちしています。

脱炭素・GREEN×EXPO 推進局 GREEN×EXPO 推進課
電話　045-671-4627 /FAX 045-212-1223
メール　da-greenexpo@city.yokohama.lg.jp

横 浜 市 記 者 発 表 資 料

明日をひらく都市
OPEN×PIONEER
YOKOHAMA

令 和 8 年 9 月 29 日
脱炭素・GREEN×EXPO 推進局
G R E E N × E X P O 推 進 部

「横浜グリーンエクスポ開催半年前メディア発表会」を開催

横浜市出展の名称が「つなぐ横浜館」「つなぐ横浜フィールド」に決定

横浜市が主催する特別な祭典「YOKOHAMA GREEN CHALLENGE WEEK」と「食」と「エンターテインメント」で区民が主役となるイベント「ヨコハマ 18（イチハチ） コレクション」

横浜都心臨海部と会場を結ぶ直行バスの運行ルートも発表

横浜市は、2027 年３月から開催する横浜グリーンエクスポ（GREEN×EXPO 2027）の開催半年前を迎え、「横浜グリーンエクスポ開催半年前メディア発表会」を開催しました。

発表会では、横浜市出展の名称を「つなぐ横浜館」及び「つなぐ横浜フィールド」に決定したことを発表したほか、「横浜と未来をつなぐ７日間」をテーマに展開する「YOKOHAMA GREEN CHALLENGE WEEK」や、横浜 18 区民が主役となって各区の魅力を発信するイベント「ヨコハマ 18 コレクション」など、市主催催事の概要を紹介しました。

また、市内 10 の大学・専門学校で活動する「EXPO 部」の始動、「横浜ネイチャークエスト」の実施、横浜都心臨海部と会場を結ぶ直行バスの運行ルート、TDM パートナー向けステッカーの配布など、開催に向けた多彩な取組についても発表しました。

＜横浜市出展＞

■横浜市出展の名称を「つなぐ横浜館」「つなぐ横浜フィールド」に決定

「世界の明日（あす）を、みんなでひらく。」をコンセプトとし、「建物空間を活用した発信拠点」と「フィールドを活用した活動拠点」の２か所の出展をお知らせしてきました。

横浜グリーンエクスポのホストシティとして、市民・企業の皆様をはじめ、これまでの各種イベントやワークショップ、ボランティア募集、STYLE100 の取組などを通じて、多くの方々とともに準備を進めています。

これまでに生まれた多様なつながりを横浜グリーンエクスポの場に結集し、さらに開催後の未来へとつないでいきたいという思いを込め、このたび、「建物空間を活用した発信拠点」の名称を「つなぐ横浜館」、「フィールドを活用した活動拠点」の名称を「つなぐ横浜フィールド」に決定し、「つなぐ横浜館」公式 WEB サイトを公開しました。

開幕に向けて、市民・企業の皆様をつなぐ参加型ワークショップの開催等、様々な取組を進めます。

【ロゴデザイン】

つなぐ 横浜館 CIRCULAR LINK YOKOHAMA Hub

つなぐ 横浜フィールド CIRCULAR LINK YOKOHAMA Field

【つなぐ横浜館　公式 WEB サイト URL】
https://yokohama-hub.city.yokohama.lg.jp

裏面あり

＜参考＞「つなぐ横浜館」「つなぐ横浜フィールド」の整備状況

「つなぐ横浜館」は、９月８日に GREEN×EXPO 協会より建物の引き渡しが完了しました。今後、内装や外構の工事を進め、開幕に向けて準備を進めていきます。



「つなぐ横浜館」9 月 8 日撮影

「つなぐ横浜フィールド」も、開幕に向け花壇や休憩スポット、園路などフィールド全体の整備を進めています。



「つなぐ横浜フィールド」9 月 8 日撮影

＜横浜市主催催事＞

■横浜と未来をつなぐ7日間「YOKOHAMA GREEN CHALLENGE WEEK」

横浜市出展の取組の一つとして、「世界の明日を、みんなでひらく。」というコンセプトを体現する祭典「YOKOHAMA GREEN CHALLENGE WEEK」を、横浜グリーンエクスポ会場で開催します。

循環型都市を目指す横浜市が「チャレンジ」をキーワードに展開する、誰もが楽しみながら参加できる特別な祭典です。

パレードや蝶をモチーフとしたバタフライシンボルオブジェ、プロのアーティストによる音楽ライブ、サーキュラーな暮らしを体感できるパークなどを通じて、新しい未来に向けたさまざまな挑戦を発信します。

【ロゴデザイン】

YOKOHAMA GREEN CHALLENGE WEEK
グリーンチャレンジウィーク

- 開催日程：2027 年５月 26 日(水)～６月１日(火)
- 開催場所：横浜グリーンエクスポ会場全体
- ４つのメイン企画：
  - サーキュラーをテーマに心おどる未来の物語に出会う「パレード」
    世界的なアーティストとコラボレーションしたデザイン、リユース素材を活用した衣装やフロートを用いて会場で大規模なパレードを開催します。
  - エネルギーがめぐるサステナブルな未来のシンボルオブジェ「バタフライ」
    自然の巡りをつなぐ存在である蝶をモチーフにエネルギーがめぐるサステナブルな未来のシンボルオブジェを設置します。会場を象徴するフォトスポットとしてもお楽しみいただけます。
  - 音楽の力でサステナブルな未来への想いをつなぐ「ライブ」
    世代を超えて多くの皆さまに音楽の力を通じてグリーンな未来に向けてのメッセージをお届けします。
  - サーキュラーな未来の暮らしのヒントが見つかる「パーク」
    サステナブルな暮らしを実践する皆さまが集い、さまざまな体験をお届けします。食の展示・販売や体験型のワークショップ、物品の販売など、実際にグリーンな暮らしを実践いただくための機会をご用意します。

次頁あり

【キービジュアル】



■横浜 18 区民が主役のイベント「ヨコハマ 18（イチハチ）コレクション」

【ロゴデザイン】

ヨコハマ 18（イチハチ）コレクション
Yokohama Ichihachi Collection

地域で活躍する区民の皆さまが主役となり、食とエンターテインメントを通じて、各区の文化、食などの魅力や、活動を発信するイベント「ヨコハマ 18 コレクション」を、横浜グリーンエクスポ会場内で開催します。

来場者と参加する区民の皆さまに新たな出会いやつながりが生まれ、「参加したくなる」「行ってみたくなる」イベントを目指します。

また、開催にあたり、横浜の魅力をともに発信・出演していただける個人・団体の皆さまを募集します。

- 開催日程：2027 年 7 月 21 日(水)～7 月 29 日(木)
- 開催場所：横浜グリーンエクスポ会場内 大催事広場（仮称）
- 募集期間：
  - ステージパフォーマンス（ダンスや音楽、伝統芸能など）
    募集期間：2026 年 10 月 1 日(木)～12 月 28 日(月)
  - ブース出展（特産品等の提供・PR、食と地産地消等の魅力発信）
    募集期間：2026 年 11 月 2 日(月)～12 月 28 日(月)　（予定）
- 応募ページ URL：
  https://yokohamagreenexpo-saiji.city.yokohama.lg.jp/18collection/guidelines/

【横浜市主催催事　公式 WEB サイト URL】
https://yokohamagreenexpo-saiji.city.yokohama.lg.jp

裏面あり

＜市民参加の取組＞

■市内 10 の大学・専門学校に「EXPO部」が誕生しました！

横浜グリーンエクスポの開催に向け、大学生等が主体となって、エクスポを盛り上げるコミュニティ「EXPO 部」が横浜市内 10 の大学・専門学校で立ち上がりました。

学園祭におけるエクスポの情報発信やプロギングをはじめとする環境にやさしい活動など、学生ならではの発想による取組を展開し、SNS 等を通じて、大学・専門学校と本市が協力し、市内のキャンパスから学生発のムーブメントを生み出します。

EXPO 部のロゴ(標準例)



各大学の EXPO 部代表メンバーが集合(2026年9月)

■横浜ネイチャークエスト「2027 年、横浜グリーンエクスポ開催！横浜の自然を見つけよう！」

横浜グリーンエクスポに向けた機運醸成を図るとともに、市内の豊かな生物多様性への関心を高めていただくため、いきものコレクションアプリ「Biome (バイオーム)」を活用した参加型企画を実施します。

市民の皆様がスマートフォンを使って、身近な自然やいきものを観察・記録しながら、横浜の豊かな生物多様性を体感していただく企画です。

集まったいきものの情報は、エクスポの会場内イベントで展示する予定です。



- 実施期間： 2026 年 10 月 5 日(月)～2027 年 3 月 31 日(水)
- 対象エリア：横浜市内全域

次頁あり

＜会場への交通アクセス関連＞

■横浜都心臨海部と会場を結ぶ直行バスの運行ルート

横浜グリーンエクスポ会場までの公共交通機関によるアクセスは、会場近傍４駅からのシャトルバスのほか、横浜駅、新横浜駅、羽田空港からの直行バスが運行予定です。

さらに、会場と横浜都心臨海部をダイレクトに結ぶバスも運行を予定しています。こちらは、馬車道、野毛、みなとみらい 21 地区への玄関口である桜木町駅、みなとみらいの主要ホテルや横浜ハンマーヘッド、横浜赤レンガ倉庫、関内・関外エリアの BASEGATE 横浜、さらには元町・中華街エリアのローズホテル横浜、山下公園通りのホテルニューグランドといった臨海部の主要な観光拠点を周遊するルートを予定しています。



横浜都心臨海部からの直行バスの運行予定ルート

■TDM パートナーへのインセンティブ追加（ステッカー配布）

会期中の円滑な交通の実現に向けて、交通需要マネジメント（TDM）の取組にご協力いただける企業・団体の皆さまに、「TDM パートナー」として登録のお願いをしています。ご登録いただいた皆さまには、インセンティブをご用意しており、このたび、新たな特典としてトゥンクトゥンクがデザインされた専用ステッカーを追加しました。



配布ステッカー（イメージ）

裏面あり

＜9月 29 日(火)開催 「横浜グリーンエクスポ開催半年前メディア発表会」＞



(左から)トゥンクトゥンク、渡邊(わたなべ) 忠則(ただのり) 横浜市会議長、平原(ひらはら) 敏英(としひで) 横浜市副市長、原田(はらだ) 一之(かずゆき) 横浜商工会議所副会頭、ミャクミャク

横浜市は、「横浜グリーンエクスポ開催半年前メディア発表会」を、９月 29 日（火）に横浜市中区の THE LIVE で開催し、横浜市出展や横浜市主催イベントに関する最新情報を発表しました。



(左から)トゥンクトゥンク、ミャクミャク

続いて、横浜グリーンエクスポ公式マスコットキャラクターのトゥンクトゥンクに加え、大阪・関西万博公式キャラクターのミャクミャクがスペシャルゲストとして登場。ミャクミャクは、横浜の「Ｙ」と応援を意味する「Ｙｅｌｌ」の頭文字をかけた「Ｙ」ポーズを披露し、横浜グリーンエクスポに向けてエールを送りました。トゥンクトゥンクも一緒に「Ｙ」ポーズを決め、会場を盛り上げました。

また、大阪市長の横山(よこやま) 英幸(ひでゆき)氏からビデオメッセージが寄せられました。大阪・関西万博の経験を踏まえ、早めのチケット購入と早期来場を呼びかけるとともに、「万博のバトンを横浜の皆様へつないでまいりたい」とエールを送りました。さらに、大阪市が大阪府、堺市とともに会場内へブースを出展予定であることにも触れ、「全力で共に歩んでまいります」と、横浜グリーンエクスポの成功に向けた力強いメッセージを寄せました。

加えて、横浜グリーンエクスポをともに盛り上げる横浜市 18 区のマスコットキャラクターを紹介するとともに、トゥンクトゥンクとのコラボレーションポスターを会場内で初公開しました。

<トゥンクトゥンク×横浜市 18 区キャラクターとのコラボレーションポスター　一例>



瀬谷区



旭区



緑区

次頁あり

お問合せ先

（開催半年前メディア発表会・コラボレーションポスターについて）
脱炭素・GREEN×EXPO 推進局 GREEN×EXPO 推進課担当課長　古市　　TEL　045-671-4866
（横浜市出展　発信拠点について）
脱炭素・GREEN×EXPO 推進局 GREEN×EXPO 推進課担当課長　幡野　　TEL　045-671-3787
（横浜市出展　市民活動フィールドについて）
みどり環境局戦略企画課担当課長　岩ヶ谷　　TEL　045-671-4423
（YOKOHAMA GREEN CHALLENGE WEEK、ヨコハマ 18 コレクションについて）
脱炭素・GREEN×EXPO 推進局 GREEN×EXPO 推進課担当課長　西城　　TEL　045-671-3788
脱炭素・GREEN×EXPO 推進局 GREEN×EXPO 推進課担当課長　平原　　TEL　045-671-2033
（EXPO 部について）
脱炭素・GREEN×EXPO 推進局 GREEN×EXPO 推進課担当課長　長谷部　　TEL　045-671-2102
（横浜ネイチャークエストについて）
脱炭素・GREEN×EXPO 推進局 GREEN×EXPO 推進課担当課長　安藤　　TEL　045-671-3786
（直行バスについて）
脱炭素・GREEN×EXPO 推進局 GREEN×EXPO 推進課担当課長　山崎　　TEL　045-671-4832
（TDM について）
脱炭素・GREEN×EXPO 推進局 GREEN×EXPO 推進課担当課長　原田　　TEL　045-671-3789

明日をひらく都市
OPEN×PIONEER
YOKOHAMA

横 浜 市 記 者 発 表 資 料

令和 8 年 10 月 1 日
脱炭素・GREEN×EXPO 推進局
GREEN×EXPO 推進部

横浜グリーンエクスポで横浜 18 区の魅力を発信
「食」と「エンターテインメント」で区民が主役となるイベント
「ヨコハマ 18（イチハチ） コレクション」開催決定
本日からステージパフォーマンス出演者を募集します

2027 年に開催される「横浜グリーンエクスポ（GREEN×EXPO 2027）」の会期中、市内 18 区の特色や魅力を、区民の皆さまが発信する横浜市主催イベント「ヨコハマ 18（イチハチ） コレクション」を開催します。また、本日 10 月 1 日（木）から、ステージパフォーマンスへの出演者の募集を開始します。

本イベントでは、地域で活躍する区民の皆さまが主役となり、「食」と「エンターテインメント」を通じて、横浜市 18 区それぞれの個性や地域の特色を紹介するとともに、地域で育まれてきた文化や伝統、特産品、地域活動など、多彩な魅力を発信します。

このたび募集するステージパフォーマンスでは、音楽、ダンス、演劇など幅広いジャンルを募集します。なお、区の特産品や地産地消の飲食物などを扱うブース出展者についても、11 月 2 日（月）から募集開始予定です。
多くの皆さまのご応募をお待ちしています。

裏面あり

■募集概要

イベントの開催にあたり、ステージパフォーマンスを通じて横浜の魅力を発信していただける個人・団体の皆さまを募集します。詳細は特設 Web サイトに掲載する募集要項をご確認ください。

１．募集ジャンル

音楽、ダンス、パフォーマンス、演劇　等

※ブース出展については 11 月２日（月）に改めて募集を予定しています。

２．応募資格

- 個人：市内に在住・在勤・在学していること
- 団体：市内に在住・在勤・在学している人が、出演者に含まれていること

３．募集期間

2026 年 10 月１日（木）から 12 月 28 日（月）まで

４．応募方法

- 電子メール・郵送・応募フォームにて受付。
- 詳細な応募手順や申請書類のダウンロードは、特設 Web サイトをご確認ください。

  ※電子メール及び郵送は 10 月１日（木）から受付を開始します。応募フォームについては 11 月上旬に受付開始予定です。

５．問合せ先

ヨコハマ 18 コレクション運営事務局

電話：050-8888-9556（平日 10:00 から 18:00）

メールアドレス：yokohama18@dna-ex.co.jp

■「ヨコハマ 18 コレクション」概要

- **開催時期**：2027 年７月 21 日（水）から７月 29 日（木）まで
- **会場**　　：横浜グリーンエクスポ 会場内（大催事広場（仮称））
- **主催**　　：横浜市
- **主な内容**：
  - **ステージパフォーマンス：**
    ダンスや音楽、伝統芸能などのパフォーマンスを通じて、幅広い世代が楽しめるにぎわいの場を創出し、地域の魅力を発信。
  - **ブース出展**：特産品の提供・PR、食や地産地消等の魅力を発信。

- **特設 Web サイト**：
  https://yokohamagreenexpo-saiji.city.yokohama.lg.jp/18collection/guidelines/

お問合せ先
GREEN×EXPO 推進課担当課長　平原　　TEL：045-671-2033

磯子区連合町内会長会資料
令和８年 10 月 16 日

自治会町内会長　様

港湾局政策調整課長

東京湾沿岸海岸保全基本計画（神奈川県区間）改定に伴う パブリックコメントの実施について【情報提供】

１　事業の趣旨

津波、高潮・波浪からの海岸の防護について、将来的な気候変動の影響を考慮するため、神奈川県は東京湾沿岸の“海岸保全基本計画”を改定します。

県によりパブリックコメントが行われますのでお知らせします。

（海岸保全基本計画とは）
・海岸の防護・環境・利用の方針を定めた計画
・防護対象の災害を「数十年から百数十年に１回発生するような津波」「過去最大級の台風による高潮・波浪」としており、それ以上の災害は避難が前提となっています

２　お願いしたいこと

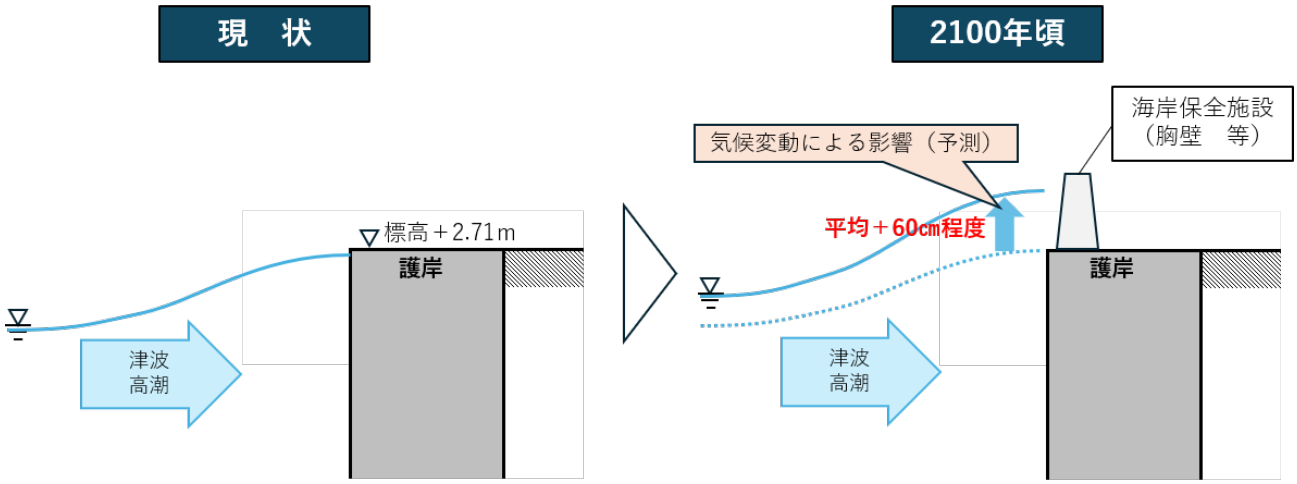
【地区連長】地区連合定例会等で情報提供をお願いします。
【単位会長】単位会長あて資料を送付します。定例会等で周知をお願いします。

３　主な改定内容と横浜市の対応について

・改定計画では、横浜市域は、2100 年時点で現行の防護計画高（標高 2.71m） から平均で 60 ㎝程度上昇（波浪の影響を除く）すると想定※1されています。
・計画改定を踏まえ、横浜市は、水際線の利用、海辺の賑わい、景観等に十分配慮しながら、海岸保全施設（津波・高潮から海岸を防護する施設）の整備を検討※2 していきます。

※１　気候変動による将来水位の上昇には、不確実な要素が含まれており、適宜、計画の見直しを行うこととされています。
※２　金沢地区、大黒ふ頭地区については整備済、または整備中の箇所があります。

【気候変動による水位上昇と対策のイメージ】



4　神奈川県によるパブリックコメントの実施について

(1)意見募集期間

令和８年 10 月 16 日から令和８年 11 月 16 日まで

(2)海岸保全基本計画(改定素案)の閲覧及び意見提出方法

神奈川県ホームページをご覧ください。
https://www.pref.kanagawa.jp/docs/f4i/pub/c8310794.html

ご意見はこちらから

5　問い合わせ先

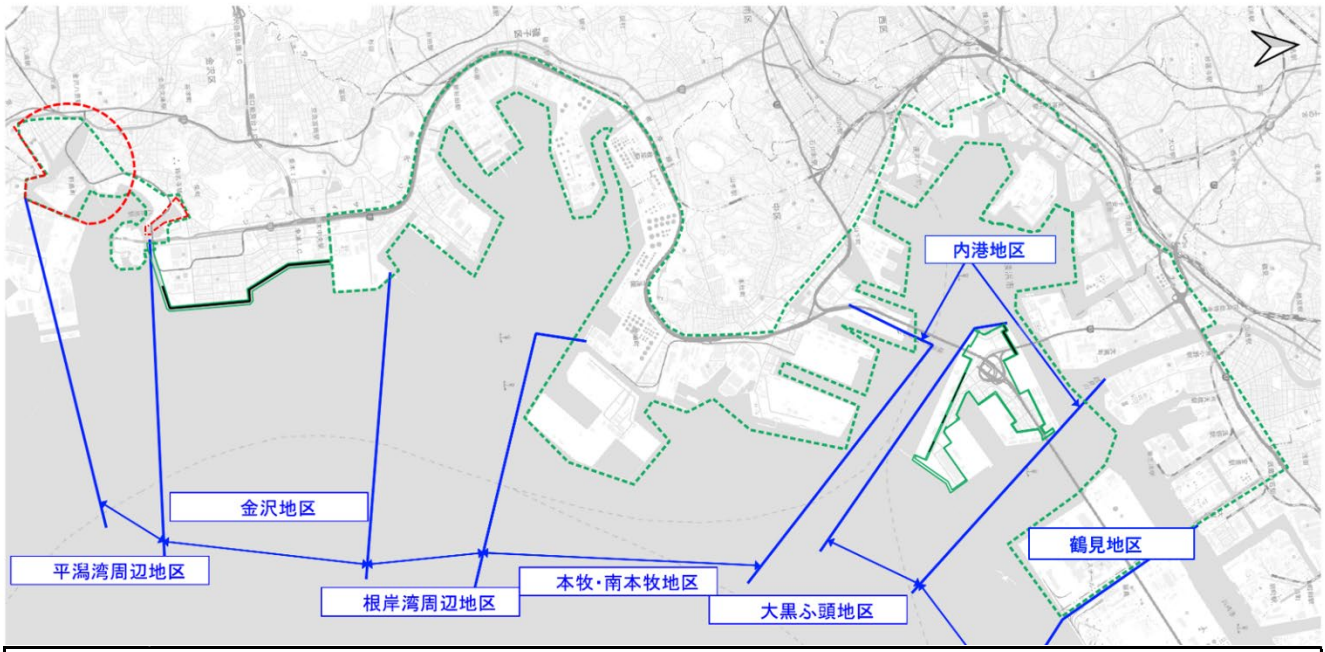
(1)海岸保全基本計画（改定素案）全般について

神奈川県県土整備局河川下水道部河港課なぎさグループ
電話　045-210-6514　ﾌｧｯｸｽ 045-210-8897

(2)横浜市域の対策について

横浜市港湾局政策調整部政策調整課　担当　大賀・井上・多田
電話　045-671-7300

【横浜市域の海岸保全施設の整備状況】



凡例	
―――	海岸を防護するための施設（海岸保全施設：嵩上げした護岸、止水のための胸壁 等）
―――	施設を整備する場所として指定された区域
- - - - - -	施設の整備を検討する区域
- - - - - -	漁港区域

磯子区連合町内会長会資料

令 和 ８ 年 10 月 16 日

自治会町内会長　様

磯子区安全・安心まちづくり推進協議会

会　長　内藤　吉夫

磯子区地域振興課長　　荒木　慎二

磯子消防署総務・予防課長　亀井　達三

「磯子区安全・安心まちづくりポスターコンクール」最優秀作品ポスターの

自治会町内会掲示板への掲出について（お願い）

清秋の候　ますます御清栄のこととお喜び申し上げます。

日頃から、横浜市政に対しご理解とご協力を賜り、心よりお礼申し上げます。

さて、今年度も磯子区及び磯子消防署では、防犯・交通安全意識の啓発や火災予防思想の一層の普及を目的として、区内中学生を対象とした「磯子区安全・安心まちづくりポスターコンクール」の最優秀作品（防犯部門及び火災予防部門）をデザインした、啓発用ポスターを作成しました。

つきましては、貴地区内の掲示板へのポスター掲出について、御協力をお願いいたします。

なお、掲出期間については、貴団体の広報活動に支障のない範囲で、長期間のご掲出についてご協力をいただければ幸いです。

（参考：秋の火災予防運動 R8.11.９～11.15 まで、春の火災予防運動 R９．３．１～３．７まで）

【お願いしたいこと】

地区連長：地区連合定例会等で周知をお願いします。

単位会長：単位会長あて資料を送付しますので、可能な範囲で掲示板への掲出をお願いします。

【お問合せ】

○防犯・交通安全部門：磯子区地域振興課 馬場・前原

電話：７５０―２３９６　FAX：７５０―２５３４

E-mail: is-bouhan@city.yokohama.lg.jp

○火災予防部門：磯子消防署総務・予防課 宮地・五嶋

電話・FAX：７５３－０１１９

E-mail：sy-isogo-yobo@city.yokohama.lg.jp



100 ISOGO th ANNIVERSARY

令和8年度 磯子区安全・安心まちづくりポスターコンクール

防犯部門最優秀賞　白濱　咲希（浜中学校3年生）

磯子区安全・安心まちづくり推進協議会
磯子警察署／磯子区役所

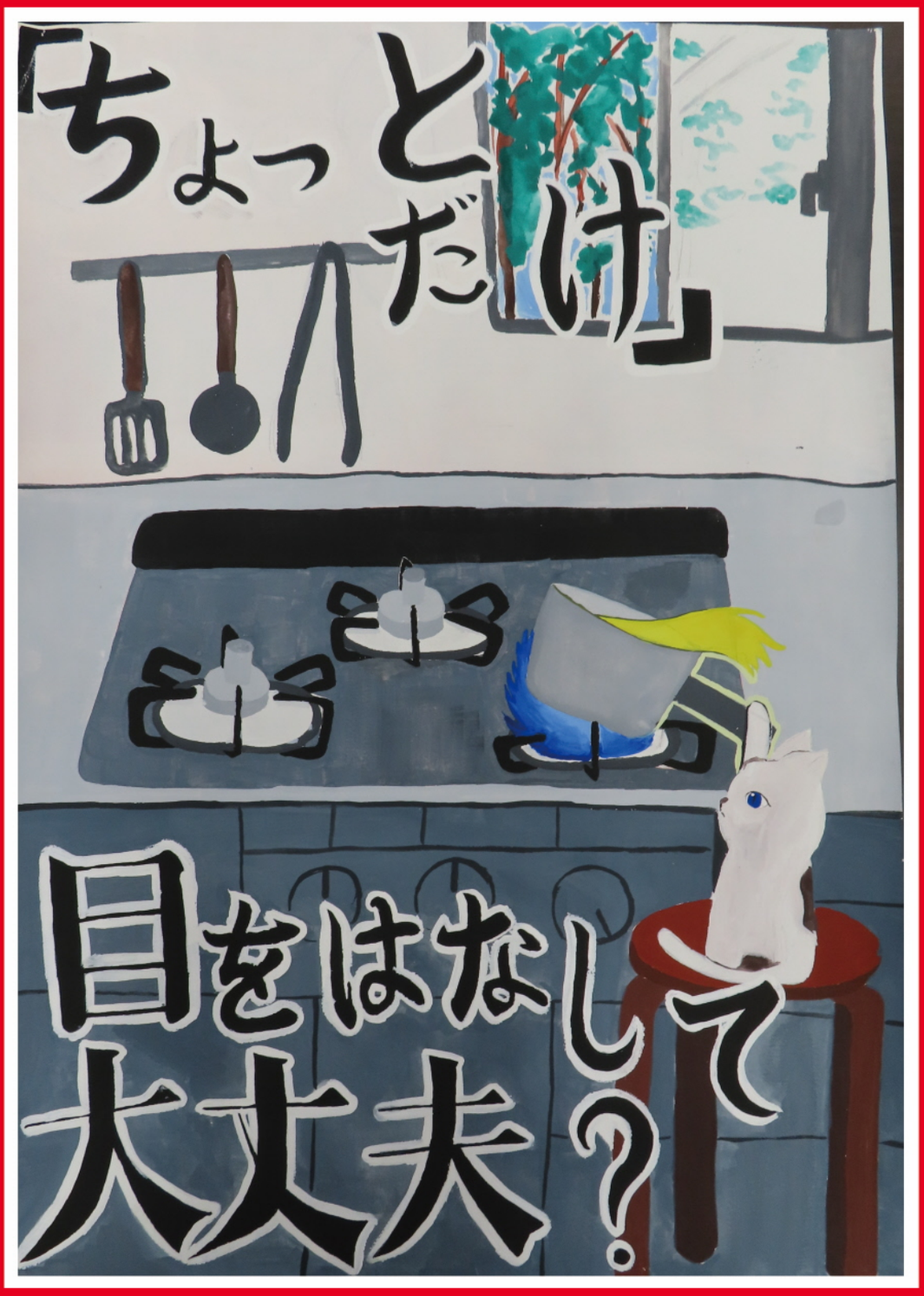
リサイクル適性Ⓐ
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

全国火災予防運動実施中

秋季 令和8年11月9日～11月15日　春季 令和9年3月1日～3月7日

「火の確認　いい日を支える　いい習慣」

2026年度
全国統一
防火標語



住宅用火災警報器の寿命は約10年

令和8年度安全・安心まちづくりポスターコンクール火災予防部門
最優秀賞　岡村中学校　1年　針持　志保さん

磯子火災予防協会・磯子消防署・磯子消防団

磯子区連合町内会長会資料
令 和 8 年 10 月 16 日

自治会町内会長　様

磯子区地域振興課長
福祉保健課長

令和８年度コスモスミーティングについて【報告】

１　趣旨

今年度も各地区においてコスモスミーティングが開催されました。自治会町内会ほか地域で活動する委嘱委員の方など、全９地区で延べ 300 人の方にご参加いただき、各地区の地域課題について活発な意見交換が行われました。開催の準備に携わった皆様、当日参加された皆様、どうもありがとうございました。

今年度は、第５期磯子区地域福祉保健計画（スイッチON磯子）のスタートの年であることから、各地区とも地区別計画の目標に関連したテーマで、特徴的な事例紹介や活発な意見交換が行われました。

各地区の意見交換の概要と、当日ご回答いただいたアンケートの結果についてご報告します。

区役所では今後も地域福祉保健計画など地域課題解決に向けた地域住民同士の話し合いを支援していきます。

２　お願いしたいこと

【地区連長】地区連合定例会等で情報提供をお願いします。
【単位会長】単位会長あて資料を送付します。定例会等で情報提供をお願いします。

３　報告の概要

（１）実施日時等

地区名	実施日時	参加人数	テーマ
根岸	6/22(月)	30 人	私たちの身近で“つながり”が生まれている場・活動
滝頭	7/9(木)	49 人	風水害発生時の地域の自助・共助について
岡村	7/1(水)	34 人	「誰もが気軽に参加しやすい活動」を考える～広がれ！岡村の地域活動の輪～
磯子	7/21(火)	31 人	大人と子どもの場づくりに向けた地域活動の取組～子どもから大人まで楽しく気軽に参加できるための取組
汐見台	6/20(土)	28 人	汐見台をこんな街にしたい！そのために私ができる事
屏風ヶ浦	7/17(金)	25 人	「住民同士が顔見知りになる取組を進めます」について
杉田	7/18(土)	39 人	区制 100 周年に向けて 杉田地区の過去・現在・未来への取組～杉田地区の魅力再発見～　区制 100 周年に向けて杉田地区でできること
上笹下	6/20(土)	29 人	防災
洋光台	7/23(木)	35 人	持続可能な地域活動について

参加人数：区役所職員を含みません



コスモスミーティングは、自治会町内会や各種団体の皆様が地域課題を共有し、課題解決のための意見交換や先進的な取組事例の紹介を行うもので、地区連合町内会ごとに平成 23 年度から開催していただいており、今年度で 15 回目となりました。

（2）各地区の様子

根岸地区　テーマ　「私たちの身近で“つながり”が生まれている場・活動」



根岸地区では、地域内で既に生まれている「つながり」の場や活動を共有するとともに、それらを今後も継続・発展させるための工夫について５グループでグループワークが行われました。

【主な意見】

- イベント等の情報発信と参加のきっかけづくりが重要
- 世代など地域ごとの特性に合わせた企画やイベントが必要
- 祭りや防災活動を通じて子供と高齢者をつなぐ取組が重要
- 公園や地区センター、ケアプラザなどは多世代が自然に交流できる貴重な場
- 民間企業や地域団体との連携で新たなつながりが生まれている

滝頭地区　テーマ　「風水害発生時の地域の自助・共助について」



滝頭地区では、風水害時のタイムラインを題材に、地域住民の「自助」と「共助」のあり方について４グループでグループ討議が行われました。

【主な意見】

- 食料・飲料水・防災用品の備蓄、避難場所・避難経路の事前確認、家族間の連絡方法の取り決め、防災訓練への参加など平常時からの備えが重要
- 災害時にはテレビ・ラジオ等や自治体発信情報など正確な情報を取得し、地域で共有することが重要
- 高齢者・障がい者などへの支援体制及び日頃から近隣住民同士が助け合える関係づくりが必要
- 地域ごとに災害リスクが異なり、避難ルートや周辺状況の情報を共有しそれぞれの実情に応じた避難行動が必要

岡村地区　テーマ　「「誰もが気軽に参加しやすい活動」を考える～広がれ！岡村の地域活動の輪～」



岡村地区では、地区別計画に掲げる３つの目標を踏まえ、「誰もが気軽に参加できる地域活動」について、３グループに分かれて意見交換が行われました。

【主な意見】

- 地域活動は既存の参加者だけでなく、通りがかった人でも気軽に参加できる雰囲気づくりが重要
- 地域活動は「やってみたい」と思う人を見つけ、育てながら活動の輪を広げていくことが重要
- ５年後、10年後を見据えた役員・後継者づくりが課題
- 子どもたちを地域に結び付けることが将来の地域活性化につながる
- 学校等こども関連機関を巻き込むことも重要では
- 災害時に助け合うためには、日頃から顔の見える関係づくりが不可欠
- 地域行事は単なるイベントではなく、人と人とのつながりを生み出す重要な機会

磯子地区　テーマ　「大人と子どもの場づくりに向けた地域活動の取組～子どもから大人まで楽しく気軽に参加できるための取組」



磯子地区では、テーマに関するアンケートに基づき、各自治会町内会や各種団体からの発表及び意見交換が行われました。

【主な発表内容】

- 環境美化だけでなく、世代を超えた交流や顔の見える関係づくりを目的として、年２回の草取り・清掃活動を実施
- 高齢者見守り活動の担い手不足を受け、犬の散歩をしながら地域を見守る「わんわんパトロール」を企画
- 餅つき大会の復活や日帰り交流事業を通じて、住民同士の交流促進を実現
- 「ジュニアリーダー」が企画・運営に貢献、子どもの成長を促す活動を展開
- グラウンドゴルフ大会を中心に、多世代参加を促進する取組を実施

汐見台地区　テーマ　「汐見台をこんな街にしたい！そのために私ができる事」



汐見台地区では、上記テーマのもと、汐見台の現状や課題、将来のまちづくりについて、３グループに分かれて意見交換が行われました。

【主な意見】

- 民生委員など各種委嘱委員の担い手不足が深刻化している
- 自治会・連合会活動の新たな参加者を増やすことが求められている
- 移動販売事業は買い物支援だけでなく、高齢者の外出促進や見守り機能としても期待されている
- 社宅跡地や空き地の管理不十分さが地域景観や防犯面での課題
- 外国人居住者の増加に伴い、不安や誤解を解消するための交流機会が必要
- 自然環境や景観の良さ、住環境は汐見台の大きな魅力、20 年後、30 年後を見据えたまちの新陳代謝や再整備が必要

屏風ヶ浦地区　テーマ　「「住民同士が顔見知りになる取組を進めます」について」



屏風ヶ浦地区では、地区別計画の目標のひとつである「住民同士が顔見知りになる地域づくり」について、前アンケートをもとに、３グループに分かれて意見交換が行われました。

【主な意見】

- 自治会・町内会の役員や担い手に新たな人や若い世代の参加が少なく、高齢化が進んでいる
- イベント参加者が固定化している
- 高校生や子育て世代など多世代が参加することで、交流が活性化し、会合が盛り上がる
- 子ども会活動や子ども向けイベントは、若い世代との接点づくりに有効
- 菜園活動や収穫物を活用したカレーづくりなど、参加型イベントが交流促進に効果を上げている
- 公園清掃（クリーンデー）には子どもと保護者が参加し、最大 80 人程度が集まる好事例となっている

杉田地区　テーマ　「区制 100 周年に向けて 杉田地区の過去・現在・未来への取組～杉田地区の魅力再発見～　区制 100 周年に向けて杉田地区でできること」



杉田地区では、広報紙「わがまち杉田」の説明、読み聞かせボランティア活動及び高齢者の居場所づくり活動の紹介の後、３グループに分かれて意見交換が行われました。

【主な意見】

- 古今写真展の開催、高齢者から昔の話を聞く、第九合唱などを通じて世代間交流を深めたい
- 小中学校を含めた合同防災訓練、給水拠点や備蓄状況等の共有、子どもにも分かりやすい防災啓発を通して地域に防災意識を広める
- 地域出身の著名人を招いたイベント、横浜市歌のダンス、地域ごとの祭りや行事の一覧化など区制 100 周年を地域交流の機会として活用
- 掲示板の活用強化、地域イベント情報を横断的に発信する仕組みづくり、住民が他地区の活動にも参加しやすい環境整備など、地域内の情報共有を進めることで交流拡大につなげたい

上笹下地区　テーマ　「防災」



上笹下地区では、地区別計画の目標Ⅲについて、栗木町内会の防災の取組事例や地区内の３つのグループホームからの報告の後、全体で意見交換が行われました。

【主な意見】

- 災害時に施設と地域住民が互いに助け合える関係づくりのためには、平時からの交流が不可欠
- 峰町内会や氷取沢地区では、避難所活用や相互支援を想定し、高齢者施設との連携や協定締結をおこなっている
- 障害者施設利用者のスポーツフェスタ等地域行事への参加を通じ地域との接点を増やしたい
- 障害特性や個々の状況を理解し、顔の見える関係づくりを進めることが、災害時の支援につながる
- 外国人住民への防災・生活情報の多言語対応が必要

洋光台地区　テーマ　「持続可能な地域活動について」



洋光台地区では、自治会町内会役員の高齢化や行事の負担の偏りが進む中で、今後の地域活動をどのように継続していくかについて、５グループに分かれて意見交換が行われました。

【主な意見】

- 地域行事は長年、一部の役員や関係者に大きな負担が集中してきたことから、地域住民全体が「自分たちで支える」という意識を持つことが重要
- 健民祭や梅まつりは地域の交流の場として継続を望む声が多く、隔年開催や規模縮小など、負担を軽減した形で継続してほしい
- 地域活動や防災活動には若い世代の力が不可欠で、青年部の立ち上げや若者が参加しやすいイベントを通じた仲間づくりが必要
- 「楽しい」「やりたい」と思える活動が重要で、子どもや住民が自主的に参加したくなる企画づくりが、継続的な地域活動につながる

（3）アンケート結果

回答者計２３８人

質問１　所属を教えてください。

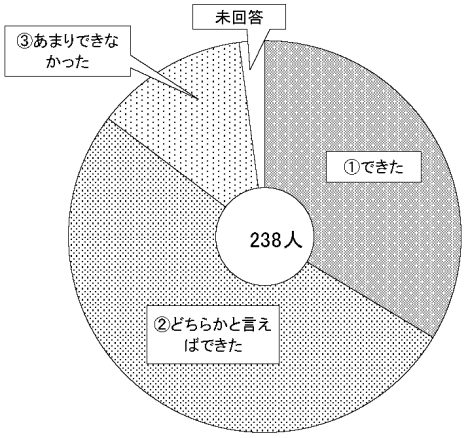
①自治会町内会　１５７人　②学校、公共施設など　３０人　③委嘱委員ほか　４９人　〇未回答　２人

質問２　「スイッチON磯子」地区別計画の内容について理解できましたか。

①よく理解できた １０２人　②まあまあ理解できた １２５人　③あまり理解できなかった　６人
〇未回答　５人

質問３(1)　本日は、地区別計画の目標に近づくための議論ができたと思いますか。また、その理由も教えて下さい。

①	できた	８０人（33.6%）
②	どちらかと言えばできた	１２３人（51.7%）
③	あまりできなかった	３０人（12.6%）
④	できなかった	０人　（0.0%）
〇	未回答	５人　（2.1%）



【理由 ※抜粋】

①②（できた、どちらかと言えばできた）

- 各町で課題や活発に出来る事、困り事やかかわりを持つ楽しさを出しあえていた
- 地域に暮らす方々に様々な方がいて、安心して暮らせる地域を目指すための話し合いが出来たと思います
- 地域の活動の担い手や参加者を増やすアイデアをアドバイスしてもらった
- いろいろな地域の取り組を参考にしたい
- 現状とそれに向けてできることなどが話し合われた
- 他の自治会町内会の様子が解りよかった
- 様々な地域交流や活性活動のアイディアを伺うことができました。大変勉強になりました
- 町内会とグループホームのつながりづくりの一歩になったと思います
- 自分が考えつかない案も出ていたのでたくさんの案から目標に近づくためのヒントがあると思う

③④（あまりできなかった、できなかった）

- どうしても短時間でまとめるのは無理があると思いました
- あまり議論はなかったため
- 時間的が短く他の方の意見を伺う事が十分できなかった

質問３(2)　本日議論した内容を、あなたの地域や団体で広めていけると思いますか。また、その理由も教えて下さい。

①できる　１８８人　②できない　２４人　〇未回答　２６人

【理由 ※抜粋】

①（できる）

- 声掛けが大切だと感じたから
- 具体的な議論でしたので、更に地域軸で掘り下げることができると考えます
- 色々ヒントをいただいたので次のアクションにつなげていきたいと思う
- 町内会で各班長を通し町内会の皆様に考えを伝えたいと思う

質問３　今後、地域で話し合いたい内容はありますか。(3 つまで)

※選択項目：高齢化・防災・防犯・子育て・地域の活性化・地域の担い手づくり・地域の居場所づくり・環境問題・交通・ ICT 活用・自治会町内会の加入促進・健康づくり・多様性・多世代交流・その他

【地区別上位５項目】

	1	2	3	4	5
全地区	高齢化(38.7%)	地域の担い手づくり(36.6%)	防災(33.6%)	地域の活性化(31.9%)	環境問題(25.6%)
根岸	地域の担い手づくり(60.0%)	高齢化(48.0%)	環境問題(32.0%)	地域の活性化(28.0%)	防災・子育て(各24.0%)
滝頭	地域の活性化(44.7%)	防災(39.5%)	高齢化(36.8%)	地域の担い手づくり・環境問題(各23.7%)	
岡村	地域の担い手づくり(46.2%)	防災・地域の活性化(各34.6%)		高齢化・地域の居場所づくり・多世代交流(各19.2%)	
磯子	高齢化・地域の担い手づくり・多世代交流(各38.1%)			防災(28.6%)	地域の活性化(23.8%)
汐見台	自治会町内会の加入促進(41.2%)	高齢化・防災・多様性(各35.3%)			地域の活性化・環境問題(各29.4%)
屏風ヶ浦	高齢化(57.1%)	防災・地域の担い手づくり(38.1%)		防犯(33.3%)	地域の活性化・多世代交流(各19.0%)
杉田	防災(38.7%)	地域の活性化(35.5%)	高齢化・地域の担い手づくり(各32.3%)		地域の居場所づくり(22.6%)
上笹下	高齢化(40.0%)	地域の活性化・地域の担い手づくり(26.7%)		防災(23.3%)	居場所づくり・環境問題・加入促進・多様性(各16.7%)
洋光台	地域の担い手づくり(48.3%)	高齢化(44.6%)	防災(37.9%)	地域の活性化(34.5%)	地域の居場所づくり(24.1%)

質問４　その他、本日の感想や今後開催していくうえでの改善点がありましたら、自由にご記入ください。【抜粋】

- 時間が足りないように感じるので、もう少し余裕が持てるように時間を増やしていきたい
- テーマを一つにしぼった議論は、とてもよかった
- 本日の内容を念頭に今後の活動に続けられればいいと思います
- 司会・議長を始め皆様のお手際には感服しました。が、やはり時間が不足気味で、もう少しテーマの範囲を絞り込んでもいいように感じました
- 地域の暮らしやすさを整えていくためのアイディアを伺うことができ大変勉強になりました。地域の一員として、より良い地域環境の一助となれるよう努めていきたいと思いました
- 私自身住んでいる地域で行われていることを振り返りたいと思った

担当：磯子区地域振興課　新井田・石橋
電話：750-2398　Fax：750-2534
E-mail：is-chiikiryoku@city.yokohama.lg.jp

磯子区連合町内会長会資料
令 和 ８ 年 10 月 16 日

地区連合町内会長　様
自治会町内会長　様

磯子区福祉保健課長

令和８年度「磯子区社会福祉大会」・「スイッチＯＮ磯子講演会」の開催について【協力依頼】

１　趣旨

日頃から、地域福祉保健の推進にご理解・ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

別紙のとおり、区社会福祉協議会主催の磯子区社会福祉大会及び区役所主催の磯子区地域福祉保健計画「スイッチＯＮ磯子」講演会を開催します。ぜひ参加をご検討いただくとともに周知に御協力いただきますよう、お願いいたします。

※広報よこはま 10 月号に掲載済です。

２　開催日時、場所

令和８年 11 月 13 日（金）　磯子公会堂　　13 時 30 分～16 時（13 時開場）

第１部：13 時 30 分～14 時 20 分　磯子区社会福祉大会

第２部：14 時 30 分～16 時　　スイッチＯＮ磯子講演会

※事前申込不要　　※要約筆記あり

３　実施内容

(1) 第１部：磯子区社会福祉大会

社会福祉の推進に特に功績のあった個人または団体の表彰

(2) 第２部スイッチＯＮ磯子講演会

講演会テーマ：「ちょっと聞いて！」が届く地域（まち）

～　小さなタネまき　×　広がる輪　～

講師：西尾　敦史　氏（愛知東邦大学人間健康学部　教授）

澤岡　詩野　氏（東海大学健康学部　教授）

講演会内容：第５期計画の推進一年目にあたり、誰もができる、普段の暮らしの中での気づきを地域の支えあいにつなげていくための取組について考えます。

４　お願いしたいこと

【地区連長】地区連合定例会等で情報提供をお願いします。

【単位会長】単位会長あて資料を送付します。定例会等で周知をお願いします。

担当：磯子区福祉保健課　藤田・尾形・別紙
電話：750-2441　Fax：750-2547
E-mail：is-fukuhokeikaku@city.yokohama.lg.jp



スイッチON磁子案内役
「梅さん」

令和８年度 磁子区社会福祉大会 & スイッチＯＮ磁子講演会

入場無料・予約不要

令和８年11月13日(金)



磁子区社会福祉協議会
キャラクター
「ふくちゃん」

スケジュール

13:00～	開　場
13:30～14:20	磁子区社会福祉大会 社会福祉功労者表彰
14:30～16:00	スイッチON磁子講演会

会　場

磁子公会堂
磁子区磁子3-5-1（磁子区総合庁舎）
JR根岸線「磁子駅」徒歩５分

※公共交通機関をご利用ください。

スイッチON磁子講演会
※要約筆記あり

「ちょっと聞いて！」が届く地域
～小さなタネまき×広がる輪(まち)～

地域での暮らしや人とのつながり方が変化する今、ふだんの暮らしの中で生まれる一人ひとりの気づきを生かしながら、ゆるやかにつながりあうことで地域の新しい支えあいの形が育まれます。
「最近、姿を見かけないな」「何か困っているのかな」そんな小さな気づきが、地域の見守りや支えあいにつながります。
今年度からスタートした第５期磁子区地域福祉保健計画「スイッチＯＮ磁子」の基本理念「誰もが幸せに暮らせるまちをみんなでめざす」の実現に向けて、本講演では、ふだんの暮らしの中でできる“気づき”や“つながり”のヒントをお届けします。

西尾 敦史 先生



愛知東邦大学
人間健康学部　教授

地域福祉分野の専門家として、
横浜市の計画策定に長年寄与。
第１期磁子区地域福祉保健計画では策定委員長を務め、第４期以降は学識経験者として住民主体の地域づくりを継続的に支援している。

澤岡 詩野 先生



東海大学
健康学部　教授

ダイヤ高齢社会研究財団で
主任研究員を経て、現職。専門は老年社会学。
ハードとソフトの両面から、知り合い以上で
友人未満の「ゆるやか」な人間関係のうまれる場、
ゆるやかな居場所のあり方を模索している。

障害者施設自主製品販売
「こすもすショップ」
@磁子区役所１階
※商品が完売し次第終了

同時開催！
13時～16時

フードドライブ実施
@磁子公会堂来場者受付
※詳細は裏面をご覧ください！

お問い合わせ
社会福祉大会　磁子区社会福祉協議会　TEL 045-751-0739
講演会　磁子区福祉保健課事業企画担当　TEL 045-750-2442
※悪天候等で中止をする場合、区役所HPにてお知らせいたします。　区HPはこちら⇒

Q スイッチON磁子ってなに？

A 地域の皆さんや団体・関係機関がお互いに支えあい、
誰もが幸せに暮らせるまちをみんなでめざす計画だよ。



Q 障害者施設自主製品販売ってなに？

A 通称「こすもすショップ」
磁子区内の障害者施設の自主製品（パン・お弁当・
焼き菓子・手工芸品・野菜など）を販売しているよ。



Q いつ、どこで買えるの？

A 毎月第３水曜日・第３木曜日 10：00～15：00
磁子区役所１階区民ホールで買えるよ。
※11/13(金)13:00～16:00も実施（完売し次第終了）



Q フードドライブってなに？

A 食べきれない食品の持ち寄り活動、いわゆる「おすそわけ」
11/13にお持ちいただいた食料は、生活にお困りの方や、各地区
の「こども食堂」などに責任を持ってお配りするよ。
お問い合せ：磁子区社会福祉協議会 TEL 045-751-0739

Q 寄付できるのはどんなもの？

A 穀類（お米、麺類、小麦等）、乾物（のり等）、
保存食（缶詰・瓶詰等）、ギフトパック（お歳暮、
お中元等）、インスタント食品、レトルト食品等
当日会場にお持ちください。





Q 我が家にもありそう！注意点は？

A
- 賞味期限が明記され、かつ、２か月以上あるもの
- 未開封で常温保存可能なもの
- 破損していないもの、中身が出ていないもの
- お米の場合は古くないもの



ご協力よろしくお願いいたします！

100 ISOGO th ANNIVERSARY
2027年は磁子区制100周年

磁子区制１００周年記念スイッチON磁子スタンプラリーを実施します！！

実施期間：10/1(木)～12/28(月)

詳しくはこちら⇒

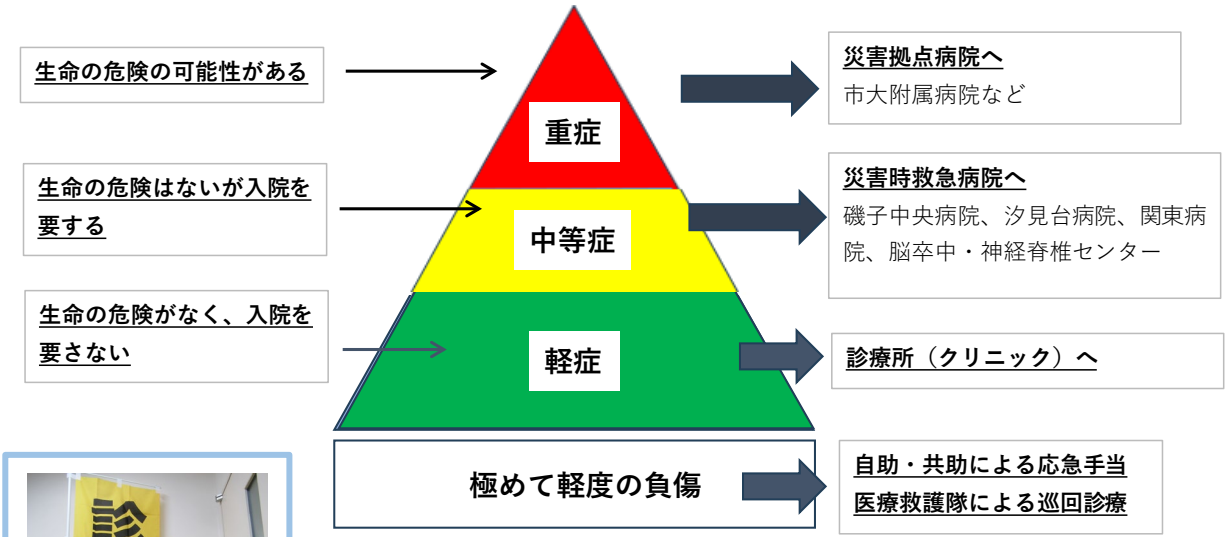
令和８年１０月１６日
磯子区連合町内会長会資料
磯子区福祉保健課

磯子区の災害医療体制とのぼり旗掲出訓練について【情報提供】

1　災害時医療体制について

大規模災害時には、多くの負傷者が出ることが想定されます。限られた医療資源の中でできるだけ多くの命を救うためには、緊急度・重症度の高い方が必要な設備のある医療機関で可能な限り早く処置を受けられるようにする必要があります。災害時には緊急度・重症度に応じて、医療機関が分担して診療にあたります。

磯子区の災害時医療体制





黄色ののぼり旗

災害時、診療が可能な病院・診療所・薬局にはのぼり旗が掲出されます。

災害時、受診の必要が生じた場合には、可能な限り、のぼり旗「診療中（開局中）」を掲げているお近くの医療機関にご相談ください。

2　のぼり旗掲出訓練

磯子区では、毎年、病院・診療所・薬局合同で、のぼり旗掲出訓練を実施しています。本年度は、**１０月３０日（金）に実施します**ので、ご承知おきください。

【訓練参加予定機関】
- 磯子区医師会所属医療機関
- 磯子歯科医師会所属医療機関
- 磯子区薬剤師会所属薬局
- 磯子区内災害時救急病院

事務担当：磯子区福祉保健課
保坂、中辻、仙、室本
電話：045-750-2411
FAX：045-750-2547

磯子区連合町内会長会資料
令 和 8 年 10 月 16 日

自治会町内会長　様

磯 子 保 護 司 会
会長　川辺　隆
磯子区更生保護女性会
会長　宗像　悦子

「いそご更生保護だより」第 73 号の回覧について【協力依頼】

時下ますますご清祥のこととお喜び申しあげます。
日頃より更生保護活動にご理解、ご協力をいただき深く感謝申しあげます。
さて、本会では更生保護の理解と普及を図るため、「いそご更生保護だより」を発行しております。
つきましては、お忙しいところ誠に恐縮に存じますが、標記広報紙の回覧についてご協力くださいますようお願い申しあげます。

1　お願いしたいこと
【単位会長】　班回覧をお願いします。

事務担当
磯子区社会福祉協議会　西谷
TEL：751－0739
FAX：751－8608

いそご 更生保護だより

No.73
磯子保護司会
磯子区更生保護女性会
〒235-0016
磯子区磯子３－１－41
磯子区社会福祉協議会内
ＴＥＬ　751－0739
ＦＡＸ　751－8608
発行人　川辺　隆
　　宗像　悦子

徽章
（保護司）
（更生保護女性会）

着任のご挨拶

磯子区長　本城　泰之



４月に磯子区長に着任いたしました本城泰之です。磯子保護司会及び磯子区更生保護女性会の皆さまにおかれましては、日頃から地域に根差した更生保護活動に取り組まれ、犯罪や非行のない安心・安全なまちづくりや、更生を目指す方々の立ち直り支援にご尽力いただいておりますことに、心より感謝申し上げます。

今年度から地域福祉保健計画「スイッチON磯子」の第５期計画がスタートしました。来年には区制100周年、さらに横浜グリーンエクスポの開催を控える中、保護司会をはじめ関係機関･団体の皆さま、地域の皆さまと力を合わせ、誰もが幸せに暮らせるまちづくりを進めてまいりますので、今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

横浜保護観察所長　田島　佳代子



令和８年４月に横浜保護観察所長に着任いたしました田島と申します。磯子保護司会及び磯子区更生保護女性会の皆様におかれましては、平素から地域に根ざした更生保護の諸活動にご尽力いただき、心から感謝申し上げます。

さて、令和８年度の社会を明るくする運動の統一テーマは「『保護司』をはじめとする更生保護ボランティアを広く知ってもらおう」です。保護司や更生保護女性会、協力雇用主にBBS会といった更生保護に関わる方々のことをもっと知ってもらい、「更生保護」が日本の“あたりまえ”となることを目指します。今後とも更生保護に対する変わらぬお力添えを賜りますようお願いいたします。

磯子警察署署長　池谷　英札



令和８年３月に着任しました池谷です。磯子保護司会及び磯子区更生保護女性会の皆様には、平素から、地域の犯罪、非行防止に向けた各種活動に取り組まれていること、及び警察活動各般へのご理解とご協力をいただいておりますことに、心より感謝申し上げます。

さて当署管内の治安情勢につきましては、刑法犯知件数が増加傾向にあり、この中でも、警察官を騙った手口などによる特殊詐欺が増加の一途をたどるなど、磯子区内における被害が後を絶ちません。また、いわゆる「闇バイト」へ応募し、犯罪に荷担した若者達による凶悪事件が慣行されるなど予断を許さない状況にあります。そこで、皆様の献身的な活動で罪を犯した者達の立ち直りを支援し、再犯をしない心を醸成させることにより、犯罪を生まない社会を実現させることに大きな期待を寄せております。

当署といたしましても安全で安心な社会を実現していくため、皆様方の身の安全を確保するとともに、強い連携を図り、あらゆる警察活動に邁進してまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

令和８年度　磯子保護司会定時総会を開催

磯子保護司会　和田　泰治

令和８年５月20日（水）、磯子区福祉保健活動拠点 多目的研修室において、保護司21名の出席に加え本年度新たに着任された本城磯子区長をはじめ横浜保護観察所など関係者各位ご列席のもと、総会を開催しました。



会では例年通り前期の事業・決算報告、今期計画、役員選任、会則一部改訂などについて審議が行われ、いずれも異議なく承認されました。

今期も更生保護に関し地域の普及啓発活動を推進すると共に、会の世代交代に向けた年にもあたり、会長以下出席会員がそれぞれの立場で、自身の目標に向けて尽力することを心に誓い、会を終了しました。

着任のご挨拶

横浜保護観察所　保護観察官　矢野　理恵



本年度、磯子区を担当します保護観察官の矢野と申します。

磯子保護司会の皆様におかれましては、日頃から保護観察対象者に対する処遇活動及び「社会を明るくする運動」を始めとする地域活動にご尽力いただいておりますことに心から感謝申し上げます。

磯子区の担当となってから、保護司会の行事や定期駐在などで保護司の先生方とお会いすることができ、先生方の温かさに触れ、いつもお会いするのが楽しみです。

保護観察の処遇においては、対象者との面接に御同席いただいたり、処遇協議をしたりする中で、丁寧に対象者やその家族と向き合ってくださり、頼もしく感じております。

これからもどうぞよろしくお願いいたします。

保護司会主催セミナーのお知らせ

本年度初めてとなりますが、磯子区役所にご協力をいただき、磯子保護司会と磯子区社会福祉協議会の共催にて青少年の育成を支えるセミナーを開催いたします。

昨今、闇バイトやSNSを通じたトラブル、オーバードーズなど、現代のこどもたちを取り巻く環境は大きく変わっており、非行や犯罪はとても身近な問題となっています。

そこで本セミナーでは、青少年の立ち直り支援や健全育成に携わる講師をお迎えし、非行の実態や現代のこどもたちが抱える課題や背景、大人が見逃しがちなサインについてお話しいただきます。

犯罪の防止には、孤立を防ぎ、あたたかく見守る大人の存在が不可欠です。

すべてのこどもたちが安心して健やかに育つ社会を目指して、私たちは何を知りどう備えるべきか?一緒に考えてみませんか。

お申込み等の詳細は11月以降に保護司会ホームページに掲載します。ご参加、お待ちしております!

日時：令和９年２月28日（日）　10時～12時
場所：磯子区役所　７階会議室

◀磯子保護司会ホームページ

保護司の異動（敬称略）

◎退任保護司　　**郡司　　実　（杉田地区）**
令和８年５月31日付
ご尽力ありがとうございました。

編集委員メンバー
～保護司会～
小川百合子　　川辺　　隆
高杉　知明　　屋代かをり
松尾　恭平
～更生保護女性会～
宗像　悦子　　杉本　房子
小宮　節子　　塩谷　順子
小林　まき

※ご意見・ご感想をお寄せください

第76回 社会を明るくする運動

本運動は法務省主唱の下、犯罪や非行のない安全で安心な地域社会を築くことを目的に行われる全国的な運動です。毎年７月は強調月間・再犯防止啓発月間となっています。

内閣総理大臣メッセージ伝達式

「社会を明るくする運動」を実施するにあたり、内閣総理大臣から発せられたメッセージを、７月３日（金）に区長室にて伝達しました。また、磯子区では、７月18日（土）に新杉田駅周辺にて街頭キャンペーンを実施することを本城区長にご報告しました。



新杉田駅　街頭キャンペーン

磯子保護司会　高杉　知明

第76回“社会を明るくする運動”街頭キャンペーンは、７月18日（土）午前10時より、JR新杉田駅周辺３ヶ所で実施しました。磯子区長、磯子警察署員、更生保護女性会会員に加え、区内公立中学校３校（根岸、汐見台、岡村）の生徒、引率の先生方のご協力も頂きました。啓発用のリーフレット等を道行く人々に渡しながら更生保護への理解を呼びかけましたが、これからも犯罪や非行からの立ち直りを支える活動に関心をもって頂けるよう、創意工夫した取組みをしていきたいと思います。



薬物乱用「ダメ、ゼッタイ」国連支援募金も行い、総額12,503円の募金が集まりました。ご協力ありがとうございました。



甲府刑務所見学

磯子保護司会　新井　貴

令和８年６月30日（火）～７月１日（水）、１泊２日の日程で研修旅行を実施しました。今回の研修は更生保護女性会との合同の研修で全体で21名の参加がありました。

研修先である甲府刑務所に30日午後着。13時30分から約２時間20分の予定で所内の見学と刑務所側との意見交換等を行いました。最初に総務課責任者から、甲府刑務所の概要について分かり易い説明を聞き、施設見学を挟んで質疑応答をしました。甲府刑務所は職員数160名、敷地面積約71,000㎡（東京ドーム1.5個分）、収容定員594人のうち約70人が外国人受刑者とのことでした。

所内の見学では、受刑者の個室（約４畳）を見たあと、処遇作業所での共同作業（木工・組立等）を見学。受刑者が同じユニホーム姿で整然と作業に取り組んでいる姿が印象的でした。刑務所側の説明では、各受刑者の特性に応じて作業と指導を組み合わせて柔軟な処置に努めているとのことでした。

その後、受刑者作業製品コーナーに寄り、最後に正門前で一同記念写真を撮り、甲府刑務所を後にしました。

宿泊先は石和常盤ホテルで、楽しい夕食の後夜遅くまで交流会を行い、有意義な研修だったので今後も合同の研修会を是非やりたいとの声が多く出されました。



令和７年度　西・磯子保護司会合同研修会に参加して

磯子保護司会　岡村　義広

令和８年３月４日（水）に、西保護司会と磯子保護司会の合同研修会が西区福祉保健活動拠点フクシアで開かれました。西保護司会からは８名、磯子保護司会から９名の参加があり、磯子保護司会 川辺会長の司会で和やかな雰囲気で始まりました。西保護司会からは、並木会長より事例を混じえて活動紹介がありました。磯子保護司会の活動については、和田副会長から会の現況、活動実績そして目標などの紹介がありました。その後、西保護司会 松浦保護司から、西区BBS会の活動について説明をいただき、その活動内容そして西保護司会との連携について事例報告もありました。

今回の研修では、まずはBBS会の活動について詳しく知ることができたこと、そして保護司としての支援活動の多様な形を感じることができた有意義な研修でした。



令和７年度　磯子区更生保護女性会自主研修会及び交流会

磯子区更生保護女性会　星野　琴子

令和８年３月13日（金）に薬物乱用防止に関する自主研修会と交流会が会員15名出席の下、磯子区福祉保健活動拠点で開かれました。

最初に宗像会長より、講師の神奈川県薬物乱用防止指導員協議会磯子支部長で保護司もしておられる金子善政氏のご紹介がありました。

氏から各学校や団体に赴き薬物乱用防止の啓発活動をしていますと自己紹介があり、先ず、最初に薬物の説明から入り、薬と薬物（薬用植物から抽出）は同じもので、処方に合った使い方をすれば薬になるし、多く使用すると毒にもなると説明されました。薬物の見本も持参して見せてくださり、会員全員興味津々の様子で見ておられました。

近年、中高生のオーバードーズ（市販薬の過剰摂取）や大学生の部活内での薬物使用が問題になっていますが、日本では世界的に見て薬物の経験者がまだ奇跡的に少ないので、これからのこどもたちを守るため、薬物の乱用防止の教室を行っていきたいと思いますので要請をお待ちしています、とのお言葉で研修会が終わりました。

その後、宗像会長と会員でこれからの更生保護女性会の活動について話し合いが行われ、活発な意見交換ができました。



甲府刑務所見学

磯子区更生保護女性会　根本　喜子

令和８年６月30日（火）～７月１日（水）に保護司13名、更生保護女性会８名の参加にて１泊研修を実施しました。

甲府刑務所は一人ひとりの特性や問題性に応じた矯正・処遇を行っていました。

受刑者による自主的なミーティングの他、野菜を栽培し、収穫物を自ら動物園に持っていき寄付したり、又は花壇をつくって花を植えるなどの活動を通して受刑者により良く生きたいと思いおこさせ、導き、見守る姿はすばらしいと思いました。

食事なども受刑者それぞれの体の具合によって配慮されており、とてもおいしいそうです。

また、健康面もよく指導され、驚くことも多くあり、さらに、拘禁刑が徹底されていることにも感動いたしました。

今回は、保護司、更生保護女性会で互いの交流が深められたよい研修でした。



使用済み切手活動に参加して

磯子区更生保護女性会　塩谷　順子

どんよりした猛暑の７月28日（火）、横浜保護観察所にて更女会員２名が参加、入口で社会貢献活動担当官がやさしく応対して下さり、私たちの緊張をほぐしてくれました。

参加者は対象者１名、保護司１名、更女会員２名、担当官１名の５名で作業、先ず発展途上国のインドネシアの現在の医療活動が日本の看護従事者の指導の下、幼い尊い命がすくわれている現状のビデオを見て、この活動がアジア・アフリカの人々の為、貴重な資金となって役立てられていることを知りました。

作業に入る前に説明があり、切手の周囲を切り取りました。珍らしい切手等を見つけると話しかけながら作業しましたが、その場の雰囲気が少しずつ和み、終了間際には笑顔も見られました。短い時間でしたが、今後も人と人とのつながりを大切に、コミュニケーションを図りながら社会貢献活動に協力していきたいと思います。

令和８年度　磯子区更生保護女性会総会

磯子区更生保護女性会　宗像　悦子

令和８年度磯子区更生保護女性会総会を、ご来賓の磯子区長本城泰之様、磯子保護司会会長の川辺隆様にご臨席いただき、磯子区福祉保健センター長近藤様、磯子区福祉保健課事業企画担当係長藤田様にもご出席いただいて、開催いたしました。

令和７年度の事業実施報告及び令和８年度事業計画は異議もなく、会員25名、出席17名委任状７名で承認されました。

活発な意見交換の場となり、今後も更生保護の立場で更生施設への慰問や寄贈を続けながら、犯罪のない明るい社会になりますよう、立ち直りを支え犯罪や非行を犯した人たちに寄り添い力になれますよう貢献していきたいと思います。



汐見台 自治会連合会だより

発行：汐見台自治会連合会/編集：コミュニケーション委員会・志田友理子/TEL・FAX 045-754-5281

ホームページ

汐見台地区青少年指導員協議会の活動紹介

スプラバルーン



8/22(土) 山王台小学校の校庭で、この地域の夏恒例、水風船大会「スプラバルーン」が開催されました。今年も浜小・汐見台小・山王台小の３校による対抗戦で、約１７０人の児童が参加。色とりどりの水風船が飛び交う中、子どもたちは歓声を上げながら元気いっぱいに校庭を駆け回りました。夏の校庭は、カラフルな風船と子どもたちの熱気でいっぱいに！地域の学校をつなぐこのイベントも、来年はいよいよ５年目を迎えます。（汐見台地区青少年指導員協議会 会長　横山理代）

≪主催：浜小学校おやじの会／PTA 、汐見台地区青少年指導員協議会（汐見台小学校学域）、山王台小学校 PTA≫

メンバー募集中！

磯子区 紙ヒコーキ大会

汐見台地区をはじめ、多くの小学生が磯子センターの体育館に集まり、大盛況の大会となりました！子どもたちが真剣な表情で紙を折り、どうすれば遠くへ飛ぶか試行錯誤する姿がとても印象的でした。体育館いっぱいに飛行機が舞い、歓声が響く素晴らしい光景が見られ、運営一同大変嬉しく思っています。大健闘の末、汐見台地区は飛行距離高学年の部で金銀メダルを獲得しました！毎年強いです！雨の中、ご参加・ご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました！



◀7/18(土)予選のようす。本選は9/6(日)に開催

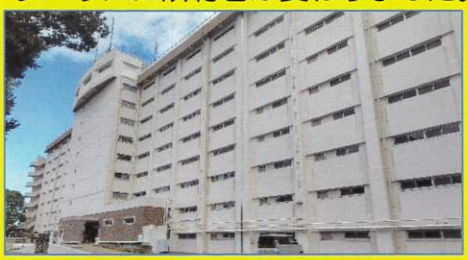
（汐見台地区青少年指導員協議会 遊佐 真利子）

自治会紹介

株式会社オークハウス

４２番目の自治会として汐見台自治会連合会に入会しました。

※ＩＨＩ独身寮（２丁目）の建物は株式会社オークハウスに所有者が変わりました。



磯子警察署より感謝状が贈られました

8/19(水)磯子警察署で、路上に座り込んでいる高齢の方を助けた横浜市内（一人は汐見台）在住の児童二人に感謝状が贈られました。８月の炎天下で座り込んでいた高齢の方に声を掛け、祖母の車で自宅まで送り届けました。高齢の方は行方不明者として捜索が出されていて、二人の適切な対応が重篤な危険を未然に防ぐとともに行方不明者の発見につながりました。



汐見台まつり

10/11 日 13:00~19:00（雨天決行）

会場：汐見台中央商店街広場

ステージイベントや出店も多数！汐見台中央商店会による福引きも開催します。是非お越しください。

※福引きの詳細は階段掲示をご覧ください。

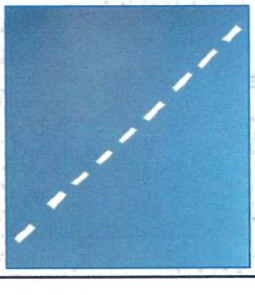
詳細はこちらから ➡ 汐見台自治会連合会

しおみだいのくふう

～汐見台小学校 新校舎～

No.11 階段のまわりにある点線

火災時にシャッターが下りてくる場所には、点線を表示しています。ぱっと見た印象では自由に色を選んでいるように見えるかもしれません。実は校舎の中で使われている ほかの色を組み合わせて、目立つようにしています。



事務局ニュース

発行：汐見台自治会連合会事務局（窓口：火・木・金 9時～14時）汐見台福祉センター内　TEL・FAX 754－5281

敬老の日祝品の報告

【自治会長の皆さまへ】
315世帯の皆さまへカステラの詰め合わせをお届けいたしました。

10月自治会長会議

★10月24日（土）13:30～
汐見台会館3階　扇の間にて開催予定です。

汐見台ふれあい寄席

★10月17日（土）10:30～12:30
汐見台会館　3階　扇の間
（参加費500円）申込期間は、10月6日（火）～13日（火）です。

10/11(日) いよいよ汐見台まつり!!

【福引きあります！13:30～】
無くなり次第終了します！福引券は、9/20～10/10までの間に汐見台商店会をご利用のお客様に配付します。

【ステージ】
有希乃路央さんと、和太鼓衆　清流さんのコラボもお楽しみに！

【キッチンカー】
ケバブ/ポテト/肉巻きおにぎり/ソフトクリーム
クレープ/タピオカ
たこ焼き/串焼き　他

ご来場のお願い

会場内禁煙



会場内ではペットを抱きかかえて下さい



★ 夜間歩き防犯パトロール当番自治会★

※出発時間：19時45分 集合場所：汐見台福祉センターC会議室
（①は1丁目、②は2丁目、③は3丁目）

【10月10日（土）】
①第9分譲住宅自治会
①中央ﾋﾞﾙ自治会
①ｺｽﾓ横濱汐見台ﾊﾟｰｸｻｲﾄﾞﾋﾙｽﾞ自治会
②ﾋﾙｺｰﾄﾃﾗｽ横浜汐見台自治会
②第13分譲自治会
②第6分譲自治会
③ｳﾞｪﾙﾃﾞﾏｰﾚｺｽﾓ横濱汐見台自治会
③松風会自治会

【10月24日（土）】
①ｸﾞﾗﾝﾉｱ汐見台自治会
①ｸﾚｽﾄﾚｼﾞﾃﾞﾝｽ横浜SKY VIEW SHIOMIDAI自治会
①ｵｰｸﾊｳｽSR横浜ﾍﾞｲﾋﾞｭｰ自治会
②電源開発磯子寮自治会
②電源開発汐見台社宅自治会
②汐風会自治会
③ｼﾞｪｲﾊﾟｰｸ横濱ﾋﾙｽﾞ自治会
③ｼﾞｪｲﾊﾟｰｸﾋﾙｽﾞ上大岡自治会



スケジュール

作成日：9月18日

日	月	火	水	木	金	土
10月				① 配付	②	③ ふれあい昼食会
④ スペースほっと	⑤ ・みんなの広場（やんちゃ、ふれあい医学講座）	⑥	⑦	⑧ うたの広場	⑨ 健康づくり体操	⑩ 夜間歩き防犯パトロール
⑪  汐見台まつり	⑫	⑬ 令和8年度安全・安心まちづくりﾎﾟｽﾀｰｺﾝｸｰﾙ入賞者表彰式	⑭	⑮	⑯ ・磯子区連合町内会長会 ・磯子区安全・安心まちづくり功労者表彰式	⑰ ・青色回転灯等装備車による夜間パトロール ・ふれあい寄席 ・第2回防災・防犯委員会
⑱	⑲	⑳	㉑	㉒	㉓ 健康づくり体操	㉔ ・定例役員会 ・自治会長会議 ・夜間歩き防犯パトロール
㉕ スペースほっと	㉖ みんなの広場（やんちゃクラブ）	㉗	㉘ エコパトロール	㉙	㉚	㉛ 汐見台小学校運動会

市連会 10 月定例会説明資料
令 和 8 年 10 月 13 日
資 源 循 環 局 業 務 課

年末年始の資源とごみの収集日程について

1　事業の趣旨

本年度の年末年始の資源とごみの収集は以下のとおり行いますので、自治会町内会長様へお知らせをさせていただきます。(詳細は、裏面資料参照)

また、班回覧の中止に伴い、自治会町内会掲示版へのチラシの掲出をお願いいたします。チラシの配布につきましては、11 月下旬に各自治会・町内会へ配送させていただきますので、よろしくお願いいたします。

2　お願いしたいこと

【区 連 長】ご承知おきください。
【地区連長】地区連合定例会等で周知をお願いします。
【単位会長】定例会等で周知していただき、掲示板へのチラシ掲出をお願いします。

3　年末年始の収集日程について

(1)　12 月 31 日（木）から１月３日（日）まで、収集をお休みさせていただきます。
(2)「燃やすごみ」「資源物」について、年末は 12 月 30 日（水）まで、年始は１月４日（月）から通常の曜日どおり収集します。

4　広報について

(1)　自治会町内会掲示板へのチラシ掲出
　　※11 月下旬に各自治会町内会へ配送させていただきます。
(2)　各集積場所に収集日程表を貼付
(3)　広報よこはま 12 月号（市版）
(4)　ごみ収集車によるアナウンス
(5)　市・局ホームページへの掲載
(6)　LINE・X（旧 Twitter）などへの掲載

5　資料（裏面）

年末年始の資源とごみの収集日程

担当：業務課計画係（収集日程に関するお問合せ）
　　業務課運営係（広報に関するお問合せ）
電話：671-2551（計画係）、671-3815（運営係）
FAX ：業務課 662-1225

年末年始の資源とごみの収集日程

12月31日（木）から1月3日（日）まで、収集はお休みさせていただきます

※「古紙・古布」は、実施している団体か回収業者にお問合せください

- 年末も、**資源とごみの分別と減量にご協力をお願いします。**
- 資源とごみは、**各収集日の 朝8時まで にお出しください。**
  （年末年始の期間は、通常と収集時間が変わることがあります。）
- 収集がお休みの日は、資源とごみを絶対に出さないでください。
- 分別されていないものは収集できません。



横浜市資源循環局マスコット イーオ

月日		燃やすごみ・燃えないごみ スプレー缶・電池類	プラスチック資源	缶・びん・ペットボトル 小さな金属類
12月	28日（月）	通常の曜日どおり収集します		
	29日（火）	通常の曜日どおり収集します		
	30日（水）	通常の曜日どおり収集します		
	31日（木）	収集はお休みです		
1月	1日（金）			
	2日（土）			
	3日（日）			
	4日（月）	通常の曜日どおり収集します		
	5日（火）	通常の曜日どおり収集します		
	6日（水）	通常の曜日どおり収集します		

※古紙・古布
横浜市の収集ではありません 実施している自治会・町内会等か、回収業者へ直接お問合せください

粗大ごみの申込み

電話でのお申込みは12月31日（木）から1月3日（日）までお休みします。

※12月のお申込みは特に混み合い、年内の収集にお伺いできない場合がございます。

横浜市 粗大ごみ 2次元コード

⇦ 粗大ごみのお申込みについてはこちらから
又は、インターネットで「横浜市　粗大ごみ」と検索

12月30日正午から1月3日までにお申し込みされた方への返信（収集日等のお知らせ）は、1月4日以降になります。

横浜市は1月19日から、道路などの屋外の公共の場所は禁煙です。

詳細はこちら

令和8年度　横浜市資源循環局

横浜市　自治会町内会館
脱炭素化推進事業補助金 【案】

横浜市は 2030 年度までの
温室効果ガス排出量 50%
削減を目指しています

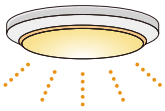
＼令和８年度も／

自治会町内会館の脱炭素化を応援します！

補助率 2/3

対象製品 LED照明器具

蛍光灯は令和９年末で製造廃止予定のため、
今後品薄となることが予想されます。
今のうちに LED への交換をご検討ください。



補助上限額
60万円

省エネ性能 ★★★★☆4.0

・統一省エネラベル省エネ性能★４つ以上
・省エネ型製品情報サイト未掲載の場合
　トップランナー基準達成製品

電球形 LED ランプのみの
交換も対象
（トップランナー基準達成製品）

対象製品 エアコン



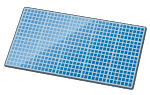
補助上限額
130万円

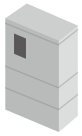
家庭用 省エネ性能 ★★☆☆☆2.4
統一省エネラベル省エネ性能
★2.4 つ以上

業務用 トップランナー基準達成製品

対象製品 断熱窓など


断熱窓


太陽光
発電設備

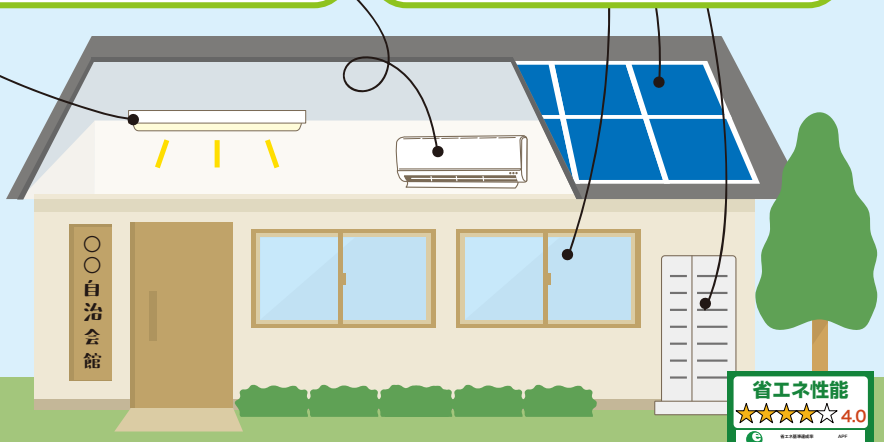

蓄電池

補助上限額
合算で **200万円**

いずれかの実施でも申請ができます。
※断熱窓：会館の状況により、補助基準に合う
製品が見当たらない場合はお問合せください。

対象製品の要件、申請手続き等の詳細は「募集案内」をご確認ください。

横浜市 会館脱炭素





統一省エネラベル：家電の省エネ性能を分かりやすくラベルで表示したもの。
星の数が多いほど省エネ性能が高いことを表しています。

対象団体

会館を所有している※ **自治会町内会**（地区連合町内会を含む）

※会館を自己所有していない場合や、集合住宅等の集会所を活動の拠点としている町内会等も補助対象となる場合があります。
詳しくは募集案内をご確認ください。

申請期限

令和８年~~10月30日(金)~~まで

11月２日(月)の受付再開後、申請期限は
12月25日(金)までに変更となります！

※予算上限に達し次第、申請受付を終了します。

※令和９年２月末までの整備完了が対象

令和８年４月発行

導入効果

LED 照明器具

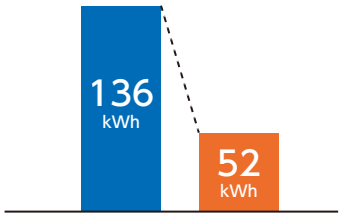
年間 CO_2排出量　1台あたり

約 **38kg 削減！**

年間電気代

約 **2,600円おトク！**

年間消費電力量（kWh/ 年）



出典：スマートライフおすすめ BOOK2023 年度（蛍光灯シーリングライトの年間消費電力量部分）
※今回の対象製品（令和６年１月時点）の平均値との比較
※年間電気代は、年間消費電力量に電力料金目安単価 31 円 /kWh（税込）を乗じて算出
※電力の CO_2排出係数は 0.45kg-CO_2/kWh で算出

エアコン

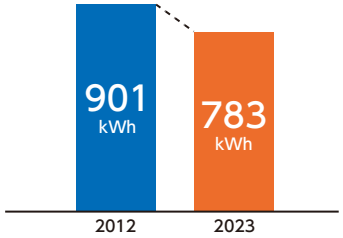
年間 CO_2排出量　1台あたり

約 **53kg 削減！**

年間電気代

約 **3,700円おトク！**

年間消費電力量（kWh/ 年）



出典：スマートライフおすすめ BOOK2023 年度（2012 年製品の年間消費電力量部分）
※今回の対象製品（令和６年１月時点）の平均値との比較
※年間電気代は、年間消費電力量に電力料金目安単価 31 円 /kWh（税込）を乗じて算出
※電力の CO_2排出係数は 0.45kg-CO_2/kWh で算出

断熱窓

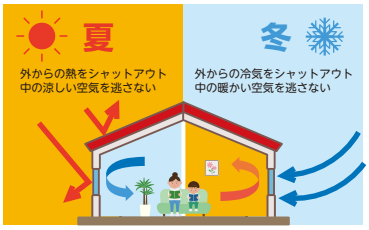
冷暖房費削減効果
（施工前との比較）

年間 CO_2排出量

約 **340kg 削減！**

年間電気代

約 **23,600円おトク！**



出典：民間事業者が一般公開しているシミュレーションによる
※躯体の断熱性能は、リフォームの場合は昭和 55 年省エネ基準適合レベルでそろえて算出
※年間電気代は、年間消費電力量に電力料金目安単価 31 円 /kWh（税込）を乗じて算出
※電力の CO_2排出係数は 0.45kg-CO_2/kWh で算出
※戸建て、窓 10 枚で算出した数値

※一定条件のもと、住宅での使用を想定したものであり、自治会町内会館の実際の使用状況により、導入効果は異なります。

手続きの流れ

意思決定・書類準備 ▶ 補助申請 ▶ 交付決定 ▶ 契約・着手 ▶ 施工業者へ支払 ▶ 完了報告 ▶ 交付額確定 ▶ 補助金の請求 ▶ 補助金の振込

補助申請

申請方法：
Ｅメール･郵送･委託先の横浜市住宅供給公社の窓口への持参（予約制）

申請期限：
令和８年 12月25日（金）

なお、見積徴収・契約する事業者は横浜市内の事業者である必要があります。「募集案内」を必ずご確認ください。

完了報告

令和９年２月26日（金）まで

設備導入後、アンケートや普及啓発の取組に協力いただくことがあります。

申請書提出・問合せ・訪問アドバイザー事前予約

事務委託先　横浜市住宅供給公社 街づくり事業課

電話　**045-451-7740**

※おかけ間違いにご注意ください
※ご来社の際は、事前にご予約ください。

Ｅメール　yokohama-shoene@yokohama-kousya.or.jp

受付時間
平日 9:00～17:00

アドバイザー派遣のご相談

**建築士が会館を訪問し、設備導入の際の工事内容、付帯工事の有無、注意点に関するアドバイスを実施（１時間程度）。
相談・訪問にかかる料金は無料です。**

※ 訪問する建築士は、横浜市が契約をしている事業者です。現地訪問は、調整の上、土・日曜日、祝日も可能。ただし、アドバイザー派遣まで、２週間ほどお時間をいただきます。
※ 事前の調整なしに、横浜市の派遣により事業者が訪問することはありません。
※ アドバイザーは、特定の事業者を紹介することはできません。

事業実施主体：横浜市市民局地域活動推進課

調停手続相談会

予約不要

調停制度とは
どのようなものなの？

調停の利用には
どんな手続きが必要？

調停を進めていくための
具体的な方法は？

不動産	近隣トラブル
借　金	交通事故
相　続	労働問題

離婚・婚姻費用・養育費等



このようなトラブルでお困りの方に、裁判所の民事調停委員や家事調停委員が無料で手続相談をお受けします。お気軽にお越しください。（秘密は厳守します）

○当相談会で直接紛争解決をはかるものではありません。
　また、税務や法律の相談会ではありませんのでご注意ください。

○感染対策のため、発熱や体調不良時には、来場をお控えください。

申　込：予約不要・当日会場で受付

日　時：令和8年11月7日（土）10：00～15：30　※受付終了 15：00

場　所：かながわ労働プラザ 4F

■JR根岸線　石川町駅　　北口（中華街口）より徒歩3分
■JR根岸線　関内駅　　南口より徒歩13分
■横浜市営地下鉄　関内駅　　1番出口より徒歩15分
■横浜市営地下鉄　伊勢佐木長者町駅　　2番出口より徒歩14分



主　催：公益財団法人 日本調停協会連合会
横浜民事調停協会　　横浜家事調停協会
神奈川民事調停協会　保土ヶ谷民事調停協会

後　援：最高裁判所　横浜地方裁判所　横浜家庭裁判所
横浜市市民局

問合せ先：横浜地方裁判所 総務課庶務第二係　045－664－8778
横浜家庭裁判所 総務課庶務係　　045－345－3505